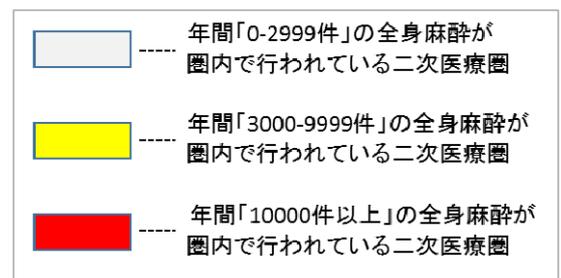
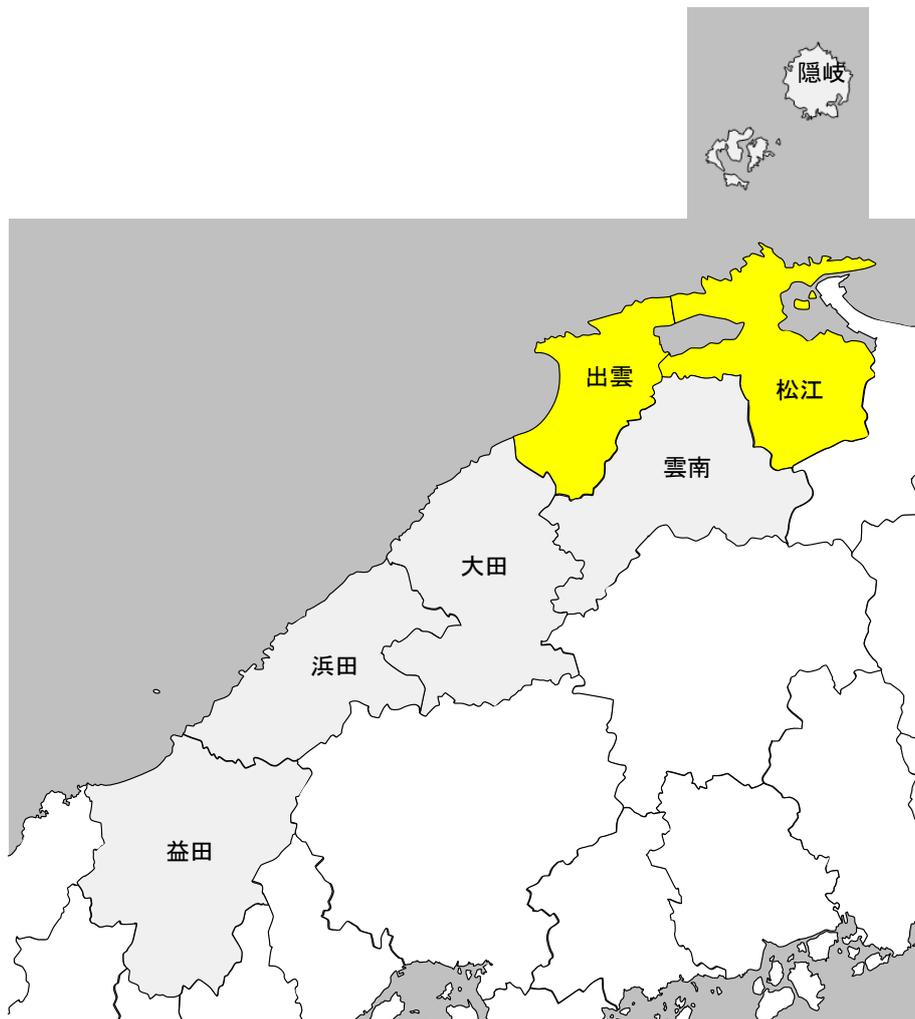


# 32. 島根県



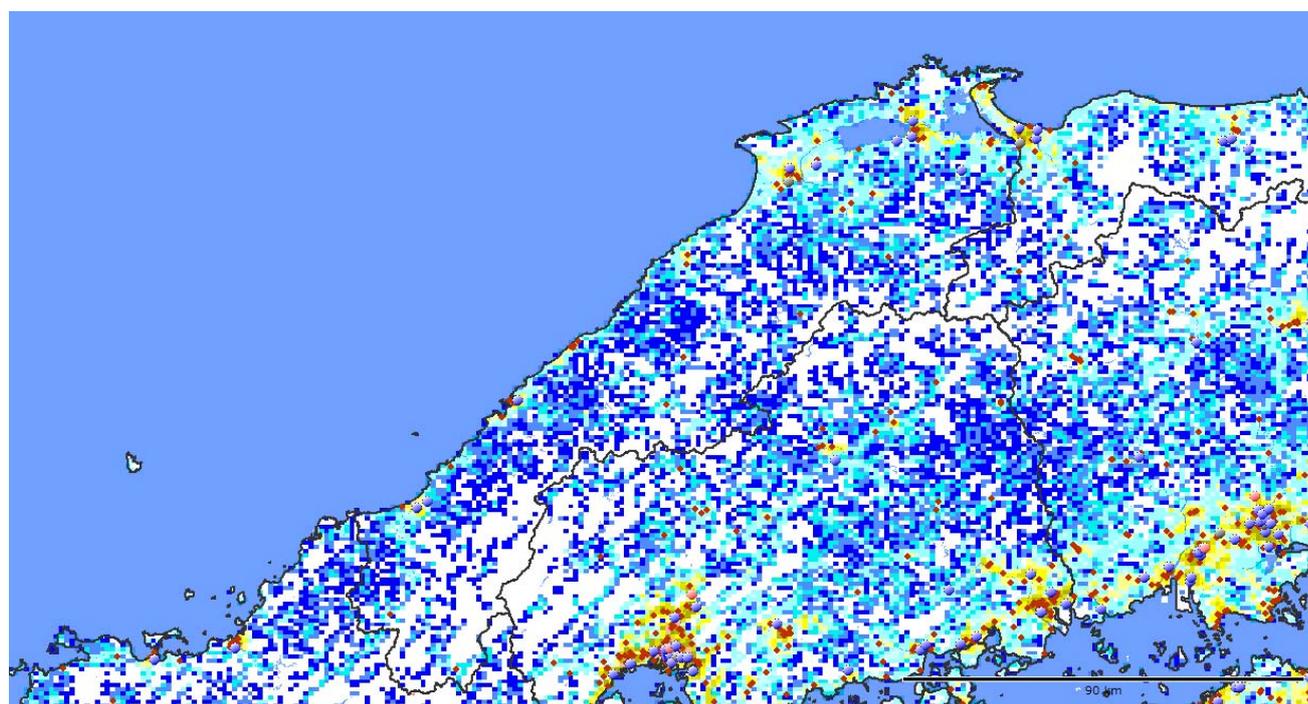
## 32. 島根県

### 目次

島根県.....	32 - 3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料.....	32 - 7
1. 松江医療圏.....	32 - 17
2. 雲南医療圏.....	32 - 21
3. 出雲医療圏.....	32 - 25
4. 大田医療圏.....	32 - 29
5. 浜田医療圏.....	32 - 33
6. 益田医療圏.....	32 - 37
7. 隠岐医療圏.....	32 - 41

# 32. 島根県

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



<sup>1</sup> 島根県を1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

## (島根県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 島根県は、総人口約 687 千人(2015 年推計)、面積 6708 km<sup>2</sup>、人口密度は 102 人/km<sup>2</sup>である。

\*人口の将来予測： 島根県の総人口は 2025 年に 622 千人へと減少し(2015 年比-9%)、2040 年に 521 千人へと減少する(2025 年比-16%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 123 千人が、2025 年にかけて 137 千人へと増加し(2015 年比+11%)、2040 年には 129 千人へと減少する(2025 年比-6%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 島根県の一人当たり医療費(国保)は 380 千円(偏差値 67)、介護給付費は 304 千円(偏差値 65)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 島根県の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は 1.34、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.26 で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 55(病院医師数 54、診療所医師数 57)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は 59 と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 59 で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は 50 と全国平均レベルである。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 53 と療養病床数はやや多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 56 と多く、回復期病床数は偏差値 56 と多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 54 で精神病床数はやや多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 63 で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 島根県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、12636 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 54)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 8394 床(偏差値 57)、高齢者住宅等が 4242 床(偏差値 48)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅系は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、11201 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 61)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 50、特別養護老人ホーム 60、介護療養型医療施設 48、有料老人ホーム 44、軽費ホーム 51、グループホーム 57、サ高住 48 である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 55 とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値 49 と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、1358 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 46)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

<sup>2</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

## 【医療と介護の需要予測】

\*病床機能報告制度による病床機能別病床数と2025年必要病床数(推計)<sup>3</sup>

①合計病床数： 病床機能報告制度による2014年の合計病床数は8321床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は6300床であり、その差は-2021床(-24%)である。

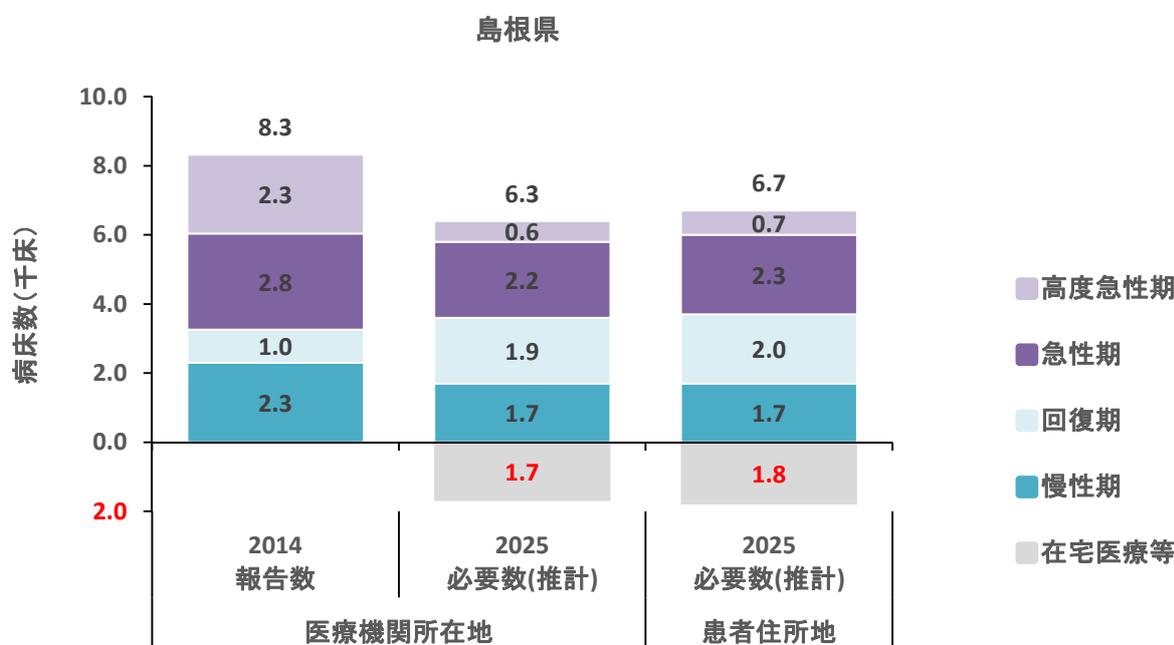
②高度急性期病床数： 高度急性期病床の報告は2282床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は600床であり、その差は-1682床(-74%)である。

③急性期病床数： 急性期病床の報告は2776床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は2200床であり、その差は-576床(-21%)である。

④回復期病床数： 回復期病床の報告は960床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は1900床であり、その差は+940床(+98%)である。

⑤慢性期病床数： 慢性期病床の報告は2303床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は1700床であり、その差は-603床(-26%)である。

⑥在宅医療等： 2025年の追加対応患者数(推計)(医療機関所在地)は1700人である。



※二次医療圏別必要病床数(推計)は公表された時点で資料編に追加予定

\*介護の2040年の需要予測： 現在の介護充足度指数<sup>4</sup>は+12%であり、介護の充足度は高い。2040年の介護充足度指数は+9%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

<sup>3</sup>必要病床数(推計)は、都道府県については、医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会第1次報告の推計結果。

医療機関所在地ベース：患者の流入が現状のまま継続するものとして、一定の仮定を置いて推計。患者住所地ベース：患者の流入がなく、入院が必要な全ての患者は住所地の二次医療圏の医療機関の病床に入院するものとして、一定の仮定を置いて推計。

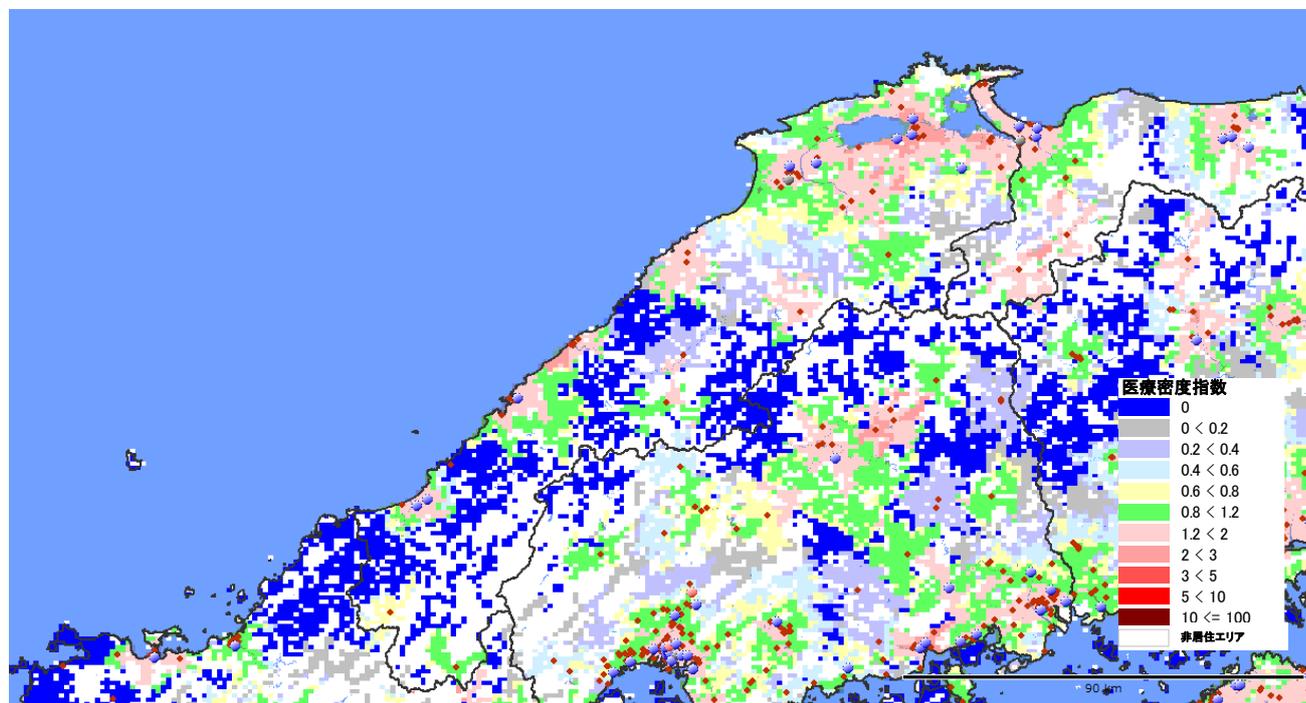
合計病床数には無回答分が含まれているため、合計病床数と各機能別病床数の合計値は合致しない。

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベット数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

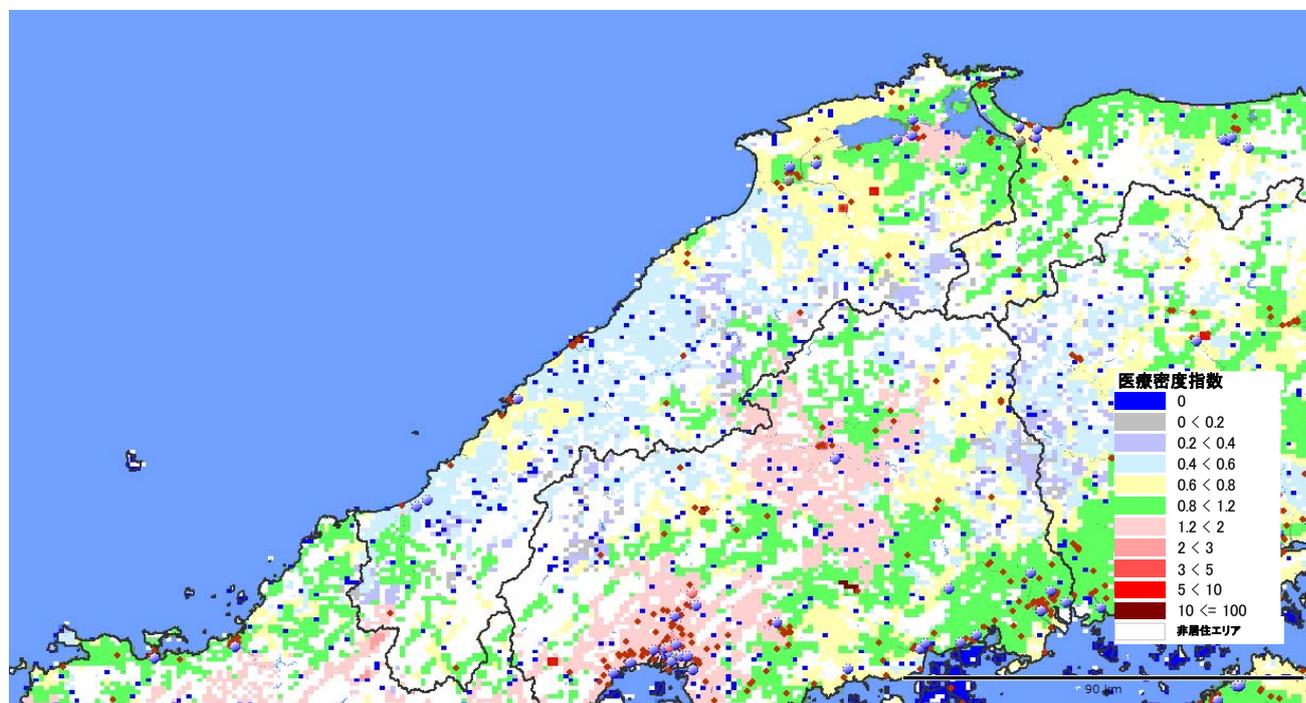
## 32. 島根県

### 2. 医療密度<sup>5</sup>

図表 32-1 急性期医療密度指数マップ



図表 32-2 慢性期医療密度指数マップ



<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料<sup>1</sup>

資\_図表 32-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	126,661		372,903		339.7		27%	120,700	107,439	16,459	21,775	22,232	-5%	-11%	32%	2%
島根県	687	46位	6,708	19位	102.4		33%	622	521	123	137	129	-9%	-16%	11%	-6%
松江	244	36%	994	15%	245.8	地方都市型	29%	228	197	38	46	46	-7%	-14%	21%	0%
雲南	58	8%	1,164	17%	49.6	過疎地域型	38%	50	39	13	13	12	-14%	-22%	0%	-8%
出雲	167	24%	624	9%	268.1	地方都市型	29%	157	138	26	30	30	-6%	-12%	15%	0%
大田	55	8%	1,245	19%	43.9	過疎地域型	40%	46	36	13	13	11	-16%	-22%	0%	-15%
浜田	82	12%	958	14%	85.6	過疎地域型	34%	72	57	16	16	15	-12%	-21%	0%	-6%
益田	61	9%	1,377	21%	44.4	過疎地域型	37%	53	41	13	14	12	-13%	-23%	8%	-14%
隠岐	20	3%	346	5%	57.7	過疎地域型	41%	17	13	5	5	4	-15%	-24%	0%	-20%

出典 <人口、75歳以上人口(2015年、2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月  
<面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年

資\_図表 32-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度指数 (%)		
			2015年	2025年	2040年
全国	1.00	1.00	0.0%	-32.3%	-32.8%
島根県	1.34	1.26	12.4%	2.6%	8.5%
松江	1.83	1.36	3.9%	-16.8%	-16.7%
雲南	1.13	1.23	-3.9%	-4.1%	6.2%
出雲	1.17	1.31	15.4%	2.9%	5.4%
大田	0.82	1.24	11.9%	13.7%	26.6%
浜田	1.25	1.90	10.3%	5.5%	16.1%
益田	0.90	3.02	11.8%	6.0%	18.5%
隠岐	0.50	0.69	8.7%	1.2%	14.3%

出典 <一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。  
<75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

<sup>1</sup>日医総研WP no.323 「地域の医療提供体制の現状と将来・都道府県別・二次医療圏別データ集(2014年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

## 32. 島根県

資\_図表 32-3 医療費、介護給付費<sup>2</sup>

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	310	(42)	250	(37)
島根県	380	67	304	65
松江	373	65	280	58
雲南	381	67	293	61
出雲	360	62	291	61
大田	438	81	347	76
浜田	439	81	349	77
益田	396	71	296	63
隠岐	402	72	358	79
出典	<一人あたり医療費>平成24年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成25年度介護保険事業状況報告(年報) 平成25年度累計(平成25年3月サービス分から平成26年2月サービス分まで)			

資\_図表 32-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,540		6.7	(4.2)	100,528		79	(19.6)
島根県	53	0.6%	7.7	52	727	0.7%	106	63
松江	17	32%	7.0	51	244	34%	100	60
雲南	5	9%	8.7	55	54	7%	94	57
出雲	11	21%	6.6	50	167	23%	100	60
大田	4	8%	7.3	51	72	10%	132	77
浜田	9	17%	11.0	60	96	13%	117	69
益田	5	9%	8.2	53	72	10%	118	70
隠岐	2	4%	10.0	58	22	3%	110	66
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

<sup>2</sup>複数医療圏にまたがる広域連合の医療費・介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

資\_図表 32-5 診療所数（全体、無床、有床）

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床				有床			
					診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	100,528		79	(19.6)	91,279		72	(19.0)	9,249		7.3	(7.0)
島根県	727	0.7%	106	63	678	0.7%	99	64	49	0.5%	7.1	50
松江	244	34%	100	60	228	34%	93	61	16	33%	6.5	49
雲南	54	7%	94	57	54	8%	94	61	0	0%	0	40
出雲	167	23%	100	60	155	23%	93	61	12	24%	7.2	50
大田	72	10%	132	77	64	9%	117	74	8	16%	14.6	61
浜田	96	13%	117	69	84	12%	102	66	12	24%	14.6	61
益田	72	10%	118	70	71	10%	116	73	1	2%	1.6	42
隠岐	22	3%	110	66	22	3%	110	70	0	0%	0	40
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

資\_図表 32-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所				病院+			
					診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,573,772		1,243	(510)	121,342		96	(111)	1,695,114		1,338	(576)
島根県	11,048	0.7%	1,608	57	566	0.5%	82	49	11,614	0.7%	1,690	56
松江	4,150	38%	1,698	59	160	28%	65	47	4,310	37%	1,764	57
雲南	702	6%	1,216	49	0	0%	0	41	702	6%	1,216	48
出雲	2,780	25%	1,661	58	116	20%	69	48	2,896	25%	1,731	57
大田	732	7%	1,340	52	110	19%	201	60	842	7%	1,541	54
浜田	1,431	13%	1,745	60	161	28%	196	59	1,592	14%	1,942	60
益田	1,094	10%	1,792	61	19	3%	31	44	1,113	10%	1,823	58
隠岐	159	1%	796	41	0	0%	0	41	159	1%	796	41
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資\_図表 32-7 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養				精神			
					療養 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	精神病 床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	897,380		708	(232)	328,195		259	(213)	339,780		268	(219)
島根県	6,372	0.7%	927	59	2,237	0.7%	326	53	2,376	0.7%	346	54
松江	2,439	38%	998	62	697	31%	285	51	983	41%	402	56
雲南	405	6%	701	50	193	9%	334	54	100	4%	173	46
出雲	1,685	26%	1,007	63	611	27%	365	55	478	20%	286	51
大田	405	6%	741	51	155	7%	284	51	168	7%	307	52
浜田	701	11%	855	56	316	14%	385	56	410	17%	500	61
益田	626	10%	1,025	64	241	11%	395	56	215	9%	352	54
隠岐	111	2%	556	43	24	1%	120	43	22	1%	110	43
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

32. 島根県

資\_図表 32-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数<sup>3</sup>

二次医療圏	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	74,508		59	(46)	21,119		36	(44)
島根県	580	0.8%	84	56	687	3.3%	100	64
松江	260	45%	106	60	170	25%	70	58
雲南	30	5%	52	49	59	9%	102	65
出雲	156	27%	93	57	60	9%	36	50
大田	0	0%	0	37	148	22%	271	103
浜田	90	16%	110	61	120	17%	146	75
益田	44	8%	72	53	122	18%	200	87
隠岐	0	0%	0	37	8	1%	40	51
出典	地方厚生局データを活用した全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会の独自調査 平成27年3月				地方厚生局データを活用した地域包括ケア病棟協会の独自調査 平成27年5月			

資\_図表 32-9 全身麻酔件数、分娩件数（年間）

二次医療圏	全身麻酔 件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	分娩件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,577,228		2,035	(946)	1,062,024		838	(291)
島根県	13,980	0.5%	2,035	50	5,856	0.6%	852	50
松江	5,208	37%	2,131	51	2,208	38%	904	52
雲南	336	2%	582	35	120	2%	208	28
出雲	6,288	45%	3,758	68	2,124	36%	1,269	65
大田	192	1%	351	32	216	4%	395	35
浜田	972	7%	1,185	41	828	14%	1,010	56
益田	888	6%	1,454	44	324	6%	531	39
隠岐	96	1%	481	34	36	1%	180	27
出典	平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

<sup>3</sup> 福岡県、近畿厚生局、近畿厚生局のデータは入手できていないため、合計値には含んでいない。人口あたり病床数（全国値）の算出にあたっては、データを入手できていない地域の人口は割合で計算している。

資\_図表 32-10 医師数（総数、病院医師数、診療所医師数）

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	328,427		259	(89)	206,659		163	(65)	121,769		96	(30)
島根県	2,110	0.6%	307	55	1,300	0.6%	189	54	810	0.7%	118	57
松江	683	32%	280	52	406	31%	166	50	277	34%	113	56
雲南	93	4%	160	39	51	4%	88	38	42	5%	73	42
出雲	776	37%	464	73	571	44%	341	77	206	25%	123	59
大田	116	6%	213	45	46	4%	83	38	71	9%	130	61
浜田	227	11%	277	52	117	9%	143	47	110	14%	134	63
益田	173	8%	284	53	83	6%	135	46	91	11%	148	67
隠岐	41	2%	206	44	27	2%	137	46	14	2%	70	41
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

資\_図表 32-11 看護師数（総数、病院看護師数、診療所看護師数）

二次医療圏	総看護師数				病院看護師数				診療所看護師数			
	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,070,056		845	(286)	889,314		702	(241)	180,742		143	(74)
島根県	7,558	0.7%	1,100	59	6,199	0.7%	902	58	1,360	0.8%	198	57
松江	2,666	35%	1,091	59	2,290	37%	937	60	377	28%	154	52
雲南	459	6%	794	48	352	6%	610	46	107	8%	184	56
出雲	2,124	28%	1,270	65	1,846	30%	1,103	67	278	20%	166	53
大田	475	6%	869	51	319	5%	584	45	156	11%	285	69
浜田	989	13%	1,206	63	706	11%	861	57	282	21%	344	77
益田	676	9%	1,107	59	564	9%	924	59	112	8%	183	55
隠岐	170	2%	851	50	121	2%	607	46	49	4%	244	64
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

資\_図表 32-12 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数				薬剤師数			
	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	111,708		88	(49)	280,052		221	(94)
島根県	800	0.7%	116	56	1,219	0.4%	177	45
松江	377	47%	154	63	425	35%	174	45
雲南	36	5%	63	45	57	5%	99	37
出雲	198	25%	118	56	356	29%	213	49
大田	27	3%	50	42	84	7%	154	43
浜田	79	10%	96	52	144	12%	176	45
益田	74	9%	121	57	127	10%	208	49
隠岐	9	1%	43	41	26	2%	130	40
出典	平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成24年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成24年12月			

32. 島根県

資\_図表 32-13 在宅医療施設数（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院）

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,364		0.9	(0.5)	1,027		0.1	(0.1)
島根県	133	0.9%	1.1	55	7	0.7%	0.1	49
松江	48	36%	1.3	59	2	29%	0.1	48
雲南	8	6%	0.6	44	0	0%	0	39
出雲	29	22%	1.1	55	1	14%	0.0	46
大田	7	5%	0.5	43	1	14%	0.1	52
浜田	27	20%	1.7	69	0	0%	0	39
益田	11	8%	0.9	50	1	14%	0.1	53
隠岐	3	2%	0.7	45	2	29%	0.4	113
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成26年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成26年11月			

資\_図表 32-14 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,572,585		96	(16)	966,631		59	(13)	605,954		37	(14)
島根県	12,636	0.8%	102	54	8,394	0.9%	68	57	4,242	0.7%	34	48
松江	3,989	32%	106	56	2,289	27%	61	52	1,700	40%	45	56
雲南	1,151	9%	87	45	969	12%	73	61	182	4%	14	34
出雲	2,885	23%	109	58	1,652	20%	63	53	1,233	29%	47	57
大田	1,389	11%	106	56	1,045	12%	80	66	344	8%	26	43
浜田	1,527	12%	98	52	1,147	14%	74	62	380	9%	24	41
益田	1,267	10%	100	53	936	11%	74	62	331	8%	26	42
隠岐	428	3%	93	48	356	4%	77	64	72	2%	16	35
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資\_図表 32-15 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	357,540		22	(5.7)	539,475		33	(10.2)	69,616		4.2	(4.2)
島根県	2,705	0.8%	22	50	5,257	1.0%	43	60	432	0.6%	3.5	48
松江	672	25%	18	43	1,508	29%	40	57	109	25%	2.9	47
雲南	191	7%	14	37	673	13%	51	68	105	24%	7.9	59
出雲	604	22%	23	52	1,048	20%	40	57	0	0%	0	40
大田	336	12%	26	57	640	12%	49	66	69	16%	5.3	52
浜田	480	18%	31	66	589	11%	38	55	78	18%	5.0	52
益田	352	13%	28	60	529	10%	42	59	55	13%	4.3	50
隠岐	70	3%	15	39	270	5%	59	75	16	4%	3.5	48
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 32-16 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア			軽費ホーム	全国シェア			グループホーム	全国シェア		
		県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	209,255		12.7	(10.0)	20,481		1.2	(1.9)	186,381		11.3	(5.6)
島根県	876	0.4%	7.1	44	179	0.9%	1.5	51	1,900	1.0%	15.4	57
松江	280	32%	7.4	45	52	29%	1.4	51	662	35%	17.6	61
雲南	10	1%	0.8	38	0	0%	0	43	108	6%	8.1	44
出雲	363	41%	13.7	51	77	43%	2.9	59	522	27%	19.8	65
大田	50	6%	3.8	41	0	0%	0	43	167	9%	12.8	53
浜田	127	14%	8.2	45	0	0%	0	43	198	10%	12.7	53
益田	46	5%	3.6	41	50	28%	3.9	64	171	9%	13.5	54
隠岐	0	0%	0	37	0	0%	0	43	72	4%	15.7	58
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 32-17 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住(全施設)	全国シェア			サ高住(特定施設)	全国シェア			サ高住(非特定施設)	全国シェア		
		県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	189,837		11.5	(6.2)	9,386		0.6	(1.2)	180,451		11.0	(5.9)
島根県	1,287	0.7%	10.4	48	90	1.0%	0.7	51	1,197	0.7%	9.7	48
松江	706	55%	18.7	62	50	56%	1.3	56	656	55%	17.4	61
雲南	64	5%	4.8	39	0	0%	0	45	64	5%	4.8	40
出雲	271	21%	10.3	48	40	44%	1.5	58	231	19%	8.7	46
大田	127	10%	9.7	47	0	0%	0	45	127	11%	9.7	48
浜田	55	4%	3.5	37	0	0%	0	45	55	5%	3.5	37
益田	64	5%	5.0	40	0	0%	0	45	64	5%	5.0	40
隠岐	0	0%	0	31	0	0%	0	45	0	0%	0	31
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 32-18 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）

二次医療圏	介護サービス従事看護師数	全国シェア			看護師数(施設)	全国シェア			看護師数(訪問)	全国シェア		
		県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	153,515		9.3	(2.5)	116,114		7.1	(2.3)	37,402		2.3	(0.8)
島根県	1,401	0.9%	11.4	58	1,072	0.9%	8.7	57	329	0.9%	2.7	55
松江	475	34%	12.6	63	355	33%	9.4	60	119	36%	3.2	61
雲南	161	11%	12.1	61	140	13%	10.5	65	21	6%	1.6	41
出雲	248	18%	9.4	50	172	16%	6.5	48	75	23%	2.8	57
大田	153	11%	11.7	59	120	11%	9.1	59	33	10%	2.5	53
浜田	180	13%	11.6	59	131	12%	8.4	56	49	15%	3.2	61
益田	140	10%	11.0	57	117	11%	9.2	60	23	7%	1.8	44
隠岐	45	3%	9.8	52	37	3%	8.0	54	8	2%	1.8	44
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

32. 島根県

資\_図表 32-19 介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）

二次医療圏	介護サービス従事 介護職員 数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,449,644		88	(15.7)	1,230,764		75	(14.6)	218,879		13.3	(5.4)
島根県	12,559	0.9%	102	59	11,201	0.9%	91	61	1,358	0.6%	11.0	46
松江	3,752	30%	99	57	3,259	29%	86	58	492	36%	13.0	50
雲南	1,282	10%	96	55	1,204	11%	91	61	79	6%	5.9	36
出雲	2,908	23%	110	64	2,606	23%	99	66	302	22%	11.4	47
大田	1,310	10%	100	58	1,204	11%	92	62	106	8%	8.1	40
浜田	1,685	13%	108	63	1,422	13%	92	61	263	19%	16.9	57
益田	1,093	9%	86	49	1,018	9%	80	54	75	6%	5.9	36
隠岐	531	4%	115	67	489	4%	106	72	42	3%	9.0	42
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 32-20 在宅医療・介護サービス利用者数（月間）

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	733,366		45	(24)	349,081		21	(9)	1,423,393		86	(30)
島根県	7,145	1.0%	58	56	2,327	0.7%	19	47	8,456	0.6%	69	44
松江	2,285	32%	61	57	990	43%	26	55	2,983	35%	79	48
雲南	603	8%	45	50	155	7%	12	40	439	5%	33	32
出雲	1,669	23%	63	58	427	18%	16	44	1,629	19%	62	42
大田	780	11%	60	56	212	9%	16	45	825	10%	63	42
浜田	1,203	17%	77	64	363	16%	23	52	1,406	17%	91	51
益田	474	7%	37	47	144	6%	11	39	679	8%	53	39
隠岐	131	2%	28	43	36	2%	8	35	495	6%	108	57
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 32-21 公的病院病床数、民間病院病床数

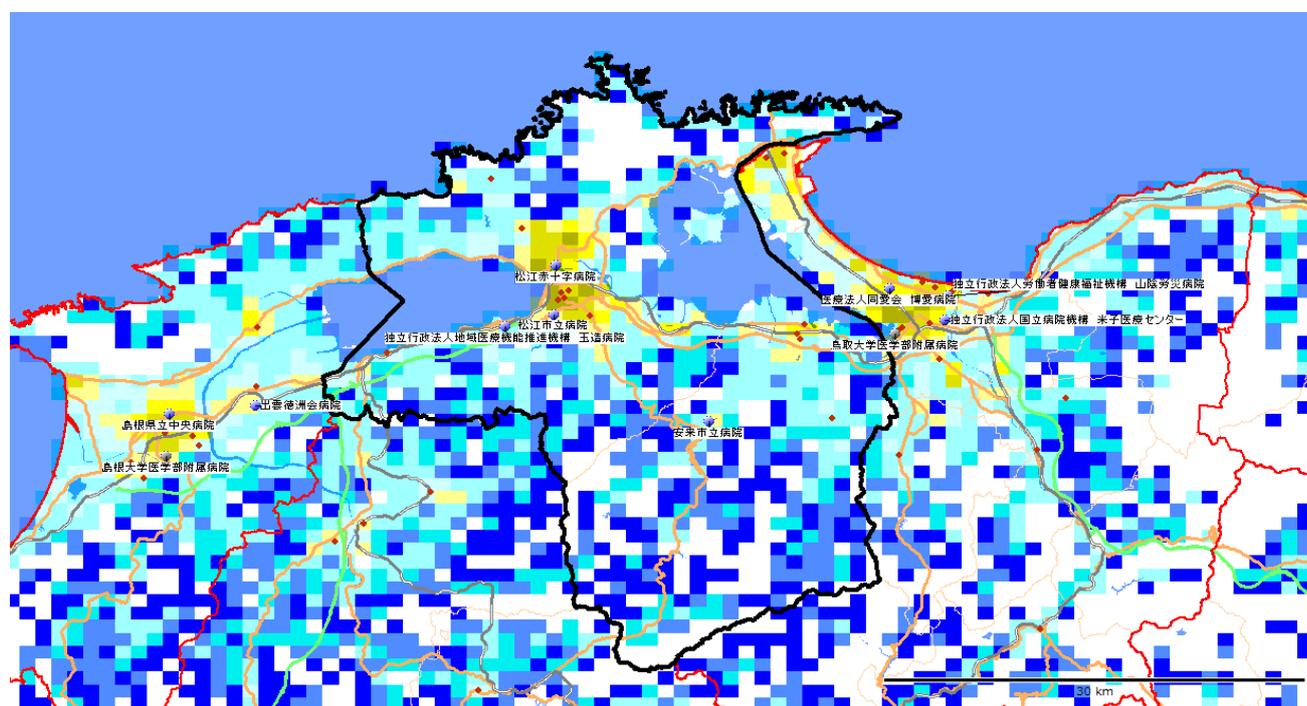
二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24)	9.1%	(23)
島根県	6,227	5,112	645	4,368	1,080	1,395	82.6%	62	31.6%	60
松江	1,995	1,790	79	1,825	588	401	75.3%	59	16.5%	53
雲南	487	345	138	215	60	55	85.2%	64	71.5%	77
出雲	1,672	1,308	52	1,052	327	559	80.0%	61	8.5%	50
大田	437	378	55	291	0	123	100.0%	70	30.9%	59
浜田	727	611	116	660	55	197	91.7%	66	37.1%	62
益田	750	569	181	325	50	60	91.9%	66	75.1%	79
隠岐	159	111	24	0	0	0	100.0%	70	100.0%	89
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

## 32. 島根県

# まつえ 32-1. 松江医療圏

構成市区町村<sup>1</sup> [松江市](#),[安来市](#)

人口分布<sup>2</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



一般病院

<sup>1</sup> 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

<sup>2</sup> 松江医療圏を1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

## (松江医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 松江(松江市)は、総人口約 244 千人(2015 年推計)、面積 994 km<sup>2</sup>、人口密度は 246 人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 松江の総人口は 2025 年に 228 千人へと減少し(2015 年比-7%)、2040 年に 197 千人へと減少する(2025 年比-14%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 38 千人が、2025 年にかけて 46 千人へと増加し(2015 年比+21%)、2040 年には 46 千人とほぼ変わらない(2025 年比±0%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 松江の一人当たり医療費(国保)は 373 千円(偏差値 65)、介護給付費は 280 千円(偏差値 58)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

## 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 松江の一人当たり急性期医療密度指数<sup>3</sup>は 1.83、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.36 で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 52(病院医師数 50、診療所医師数 56)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は 59 と多い。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 62 で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は 51 と全国平均レベルである。松江には、年間全身麻酔件数が 1000 例以上の松江赤十字病院(救命)、500 例以上の松江市立病院がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 51 と療養病床数は全国平均レベルである。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 63 と多く、回復期病床数は偏差値 60 と多い。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 56 で精神病床数は多い。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 60 で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 松江の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3989 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 56)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 2289 床(偏差値 52)、高齢者住宅等が 1700 床(偏差値 56)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅系は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3259 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 58)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 43、特別養護老人ホーム 57、介護療養型医療施設 47、有料老人ホーム 45、軽費ホーム 51、グループホーム 61、サ高住 62 である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 59 と多く、在宅療養支援病院は偏差値 48 と全

<sup>3</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

国平均レベルである。介護職員（在宅）の合計は、492人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

#### 【医療と介護の需要予測】

**\*介護の2040年の需要予測：** 現在の介護充足度指数<sup>4</sup>は+4%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040年の介護充足度指数は-17%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

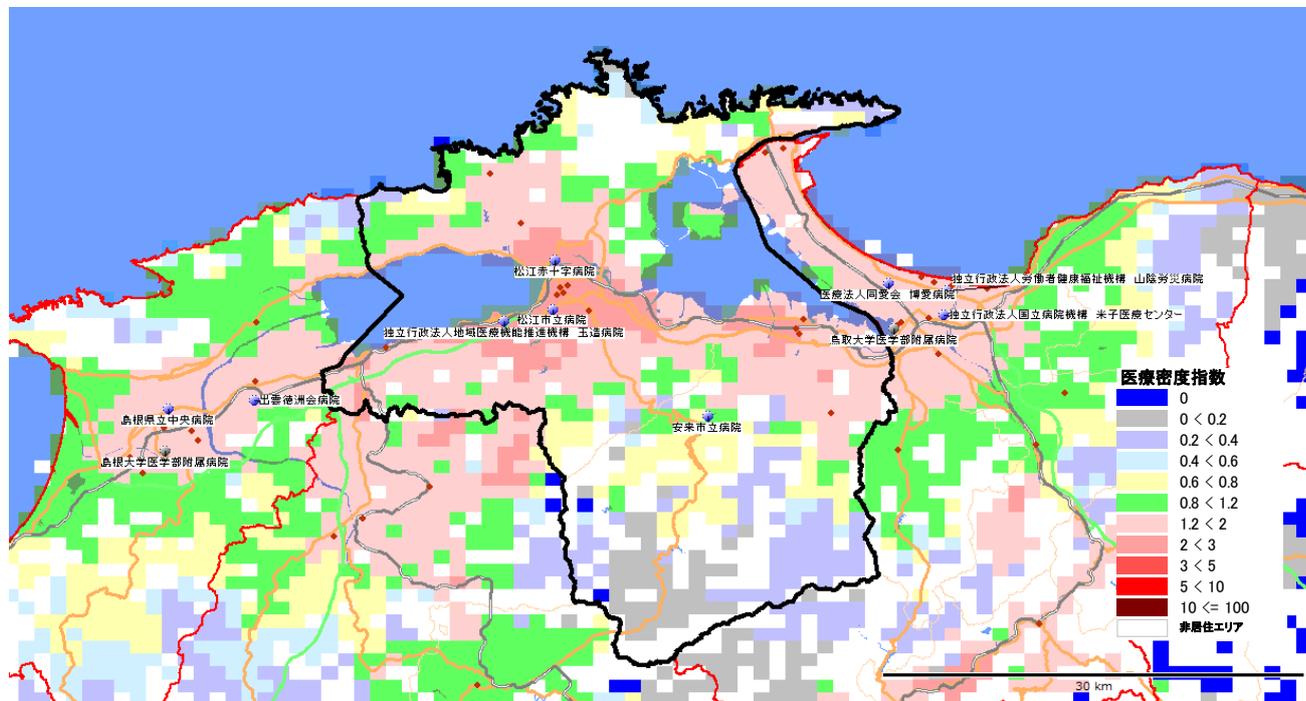
---

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推定)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

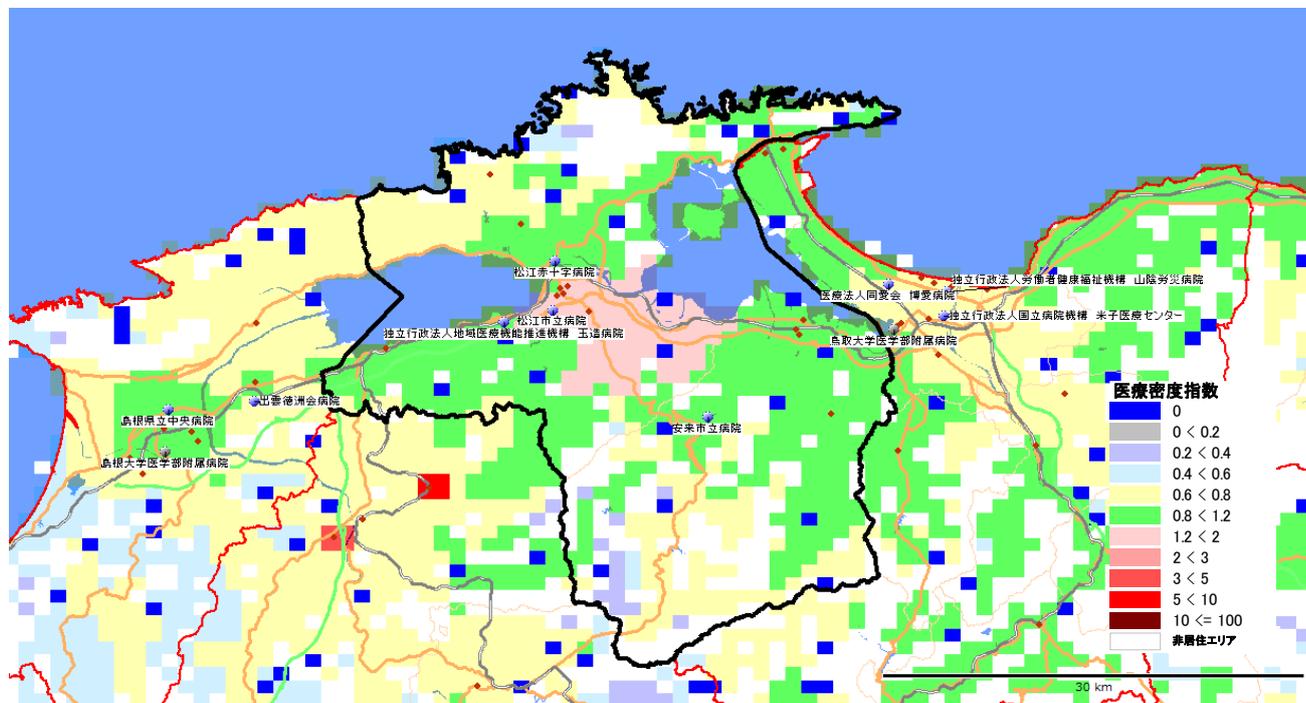
## 32. 島根県

### 2. 医療密度<sup>5</sup>

図表 32-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表 32-1-2 慢性期医療密度指数マップ

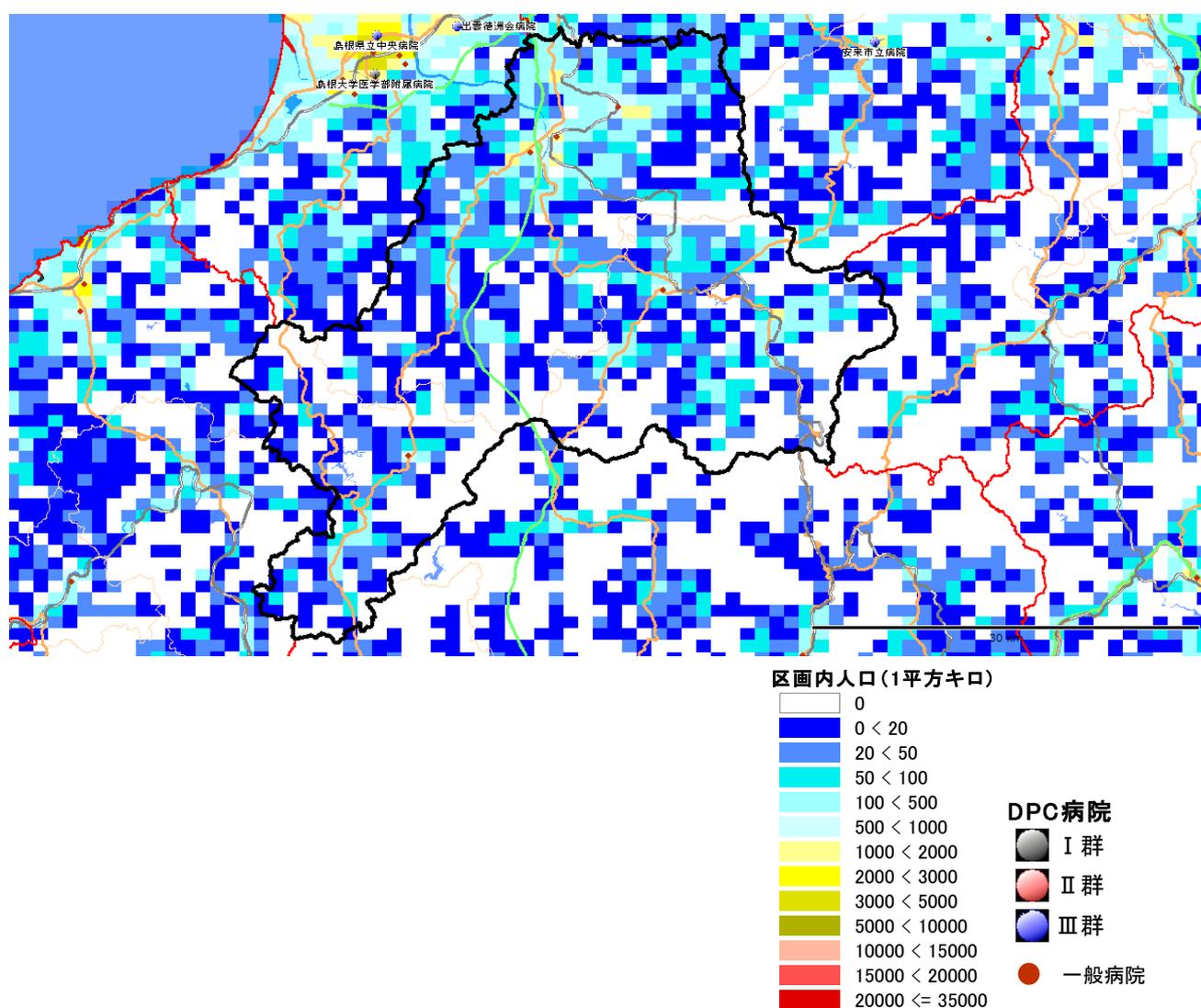


<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

## うんなん 32-2. 雲南医療圏

構成市区町村<sup>1</sup> 雲南市, 奥出雲町, 飯南町

人口分布<sup>2</sup> (1 km<sup>2</sup>区画単位)



<sup>1</sup> 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

<sup>2</sup> 雲南医療圏を1 km<sup>2</sup>区画(1 km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

## (雲南医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 雲南(雲南市)は、総人口約 58 千人(2015 年推計)、面積 1164 km<sup>2</sup>、人口密度は 50 人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 雲南の総人口は 2025 年に 50 千人へと減少し(2015 年比-14%)、2040 年に 39 千人へと減少する(2025 年比-22%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 13 千人が、2025 年にかけて 13 千人とほぼ変わらず(2015 年比±0%)、2040 年には 12 千人へと減少する(2025 年比-8%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 雲南の一人当たり医療費(国保)は 381 千円(偏差値 67)、介護給付費は 293 千円(偏差値 61)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 雲南の一人当たり急性期医療密度指数<sup>3</sup>は 1.13、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.23 で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 39(病院医師数 38、診療所医師数 42)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は 48 と全国平均レベルである。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 50 で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は 35 と少ない。雲南には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の病院はない。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 54 と療養病床数はやや多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 45 とやや少なく、回復期病床数は偏差値 49 と全国平均レベルである。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 46 で精神病床数はやや少ない。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 57 で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 雲南の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1151 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 45)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が 969 床(偏差値 61)、高齢者住宅等が 182 床(偏差値 34)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1204 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 61)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 37、特別養護老人ホーム 68、介護療養型医療施設 59、有料老人ホーム 38、軽費ホームなし(偏差値 43)、グループホーム 44、サ高住 39 である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 44 と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。

<sup>3</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

介護職員（在宅）の合計は、79人(75歳以上1000人当たりの偏差値36)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

#### 【医療と介護の需要予測】

**\*介護の2040年の需要予測：** 現在の介護充足度指数<sup>4</sup>は-4%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040年の介護充足度指数は+6%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

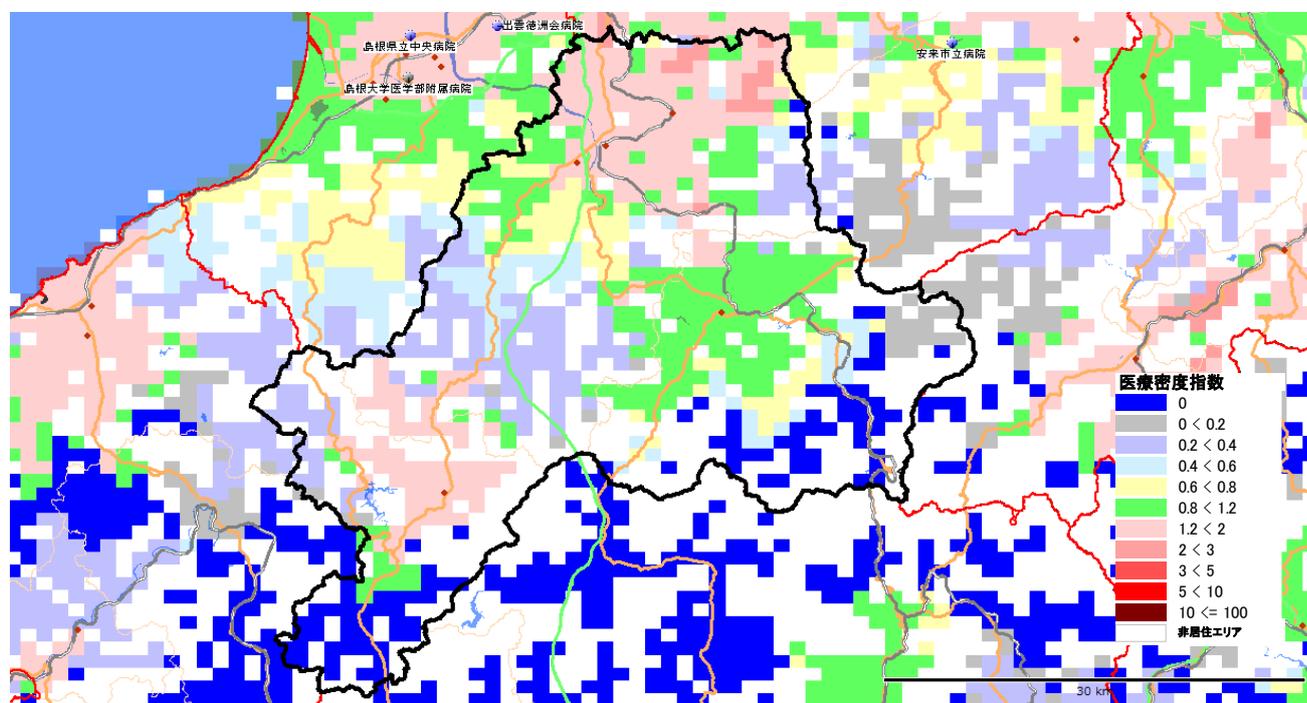
---

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

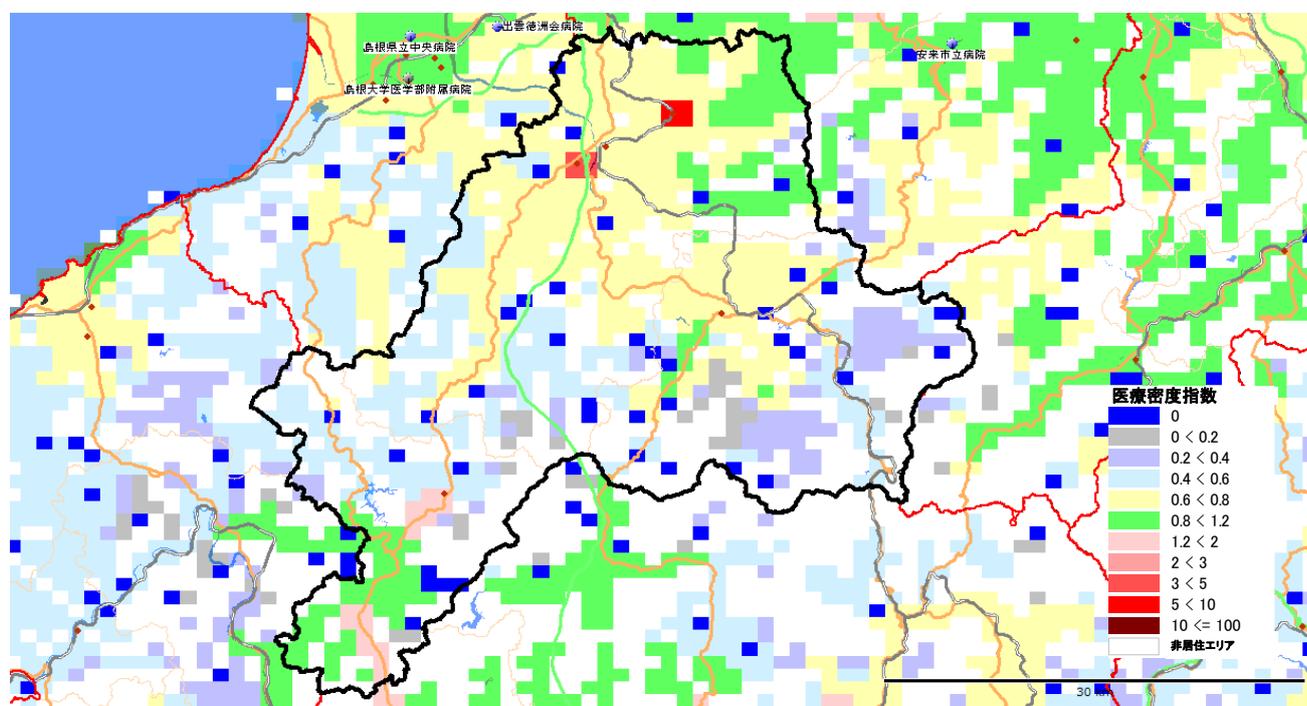
## 32. 島根県

### 2. 医療密度<sup>5</sup>

図表 32-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表 32-2-2 慢性期医療密度指数マップ

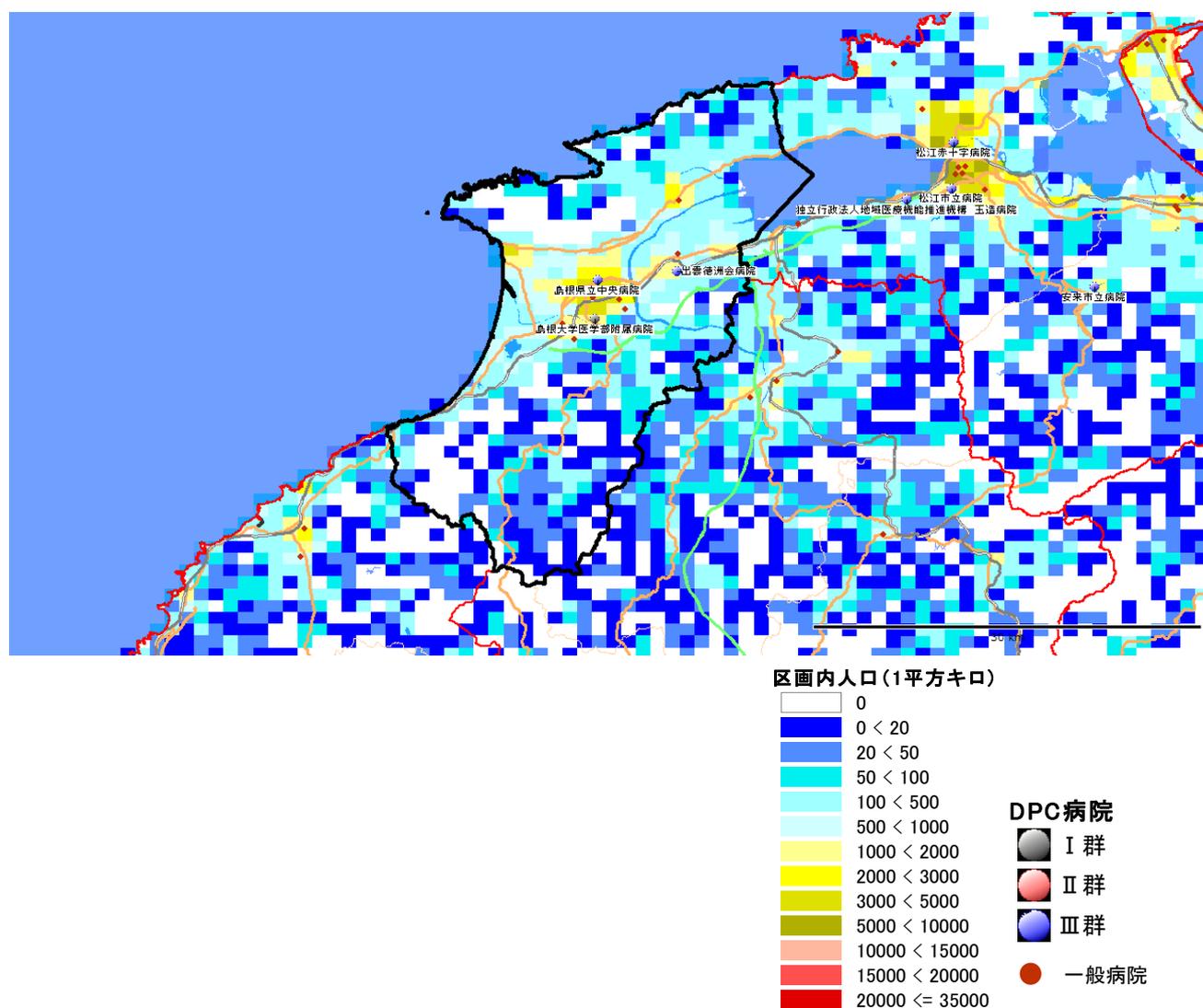


<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

# 32-3. いづも 出雲医療圏

構成市区町村<sup>1</sup> [出雲市](#)

人口分布<sup>2</sup> (1 km<sup>2</sup>区画単位)



<sup>1</sup> 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

<sup>2</sup> 出雲医療圏を1 km<sup>2</sup>区画(1 km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000 人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000 ~10,000 人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000 人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

## (出雲医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 出雲(出雲市)は、総人口約 167 千人(2015 年推計)、面積 624 km<sup>2</sup>、人口密度は 268 人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 出雲の総人口は 2025 年に 157 千人へと減少し(2015 年比-6%)、2040 年に 138 千人へと減少する(2025 年比-12%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 26 千人が、2025 年にかけて 30 千人へと増加し(2015 年比+15%)、2040 年には 30 千人とほぼ変わらない(2025 年比±0%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 出雲の一人当たり医療費(国保)は 360 千円(偏差値 62)、介護給付費は 291 千円(偏差値 61)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

## 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 出雲の一人当たり急性期医療密度指数<sup>3</sup>は 1.17、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.31 で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 73(病院医師数 77、診療所医師数 59)と、総医師数は非常に多く、病院医師数は非常に多く、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は 65 と多い。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 63 で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は 68 と非常に多い。出雲には、年間全身麻酔件数が 2000 例以上の島根大学医学部附属病院(I 群・救命)、1000 例以上の島根県立中央病院(救命)がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 55 と療養病床数はやや多い。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 56 と多く、回復期病床数は偏差値 57 と多い。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 51 で精神病床数は全国平均レベルである。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 60 で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 出雲の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2885 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 58)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 1652 床(偏差値 53)、高齢者住宅等が 1233 床(偏差値 57)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回り、高齢者住宅系は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2606 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 66)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 52、特別養護老人ホーム 57、介護療養型医療施設なし(偏差値 40)、有料老人ホーム 51、軽費ホーム 59、グループホーム 65、サ高住 48 である。

<sup>3</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 55 とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値 46 とやや少ない。介護職員（在宅）の合計は、302 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 47)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

#### 【医療と介護の需要予測】

**\*介護の 2040 年の需要予測：** 現在の介護充足度指数<sup>4</sup>は+15%であり、介護の充足度は高い。2040 年の介護充足度指数は+5%であり、2040 年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

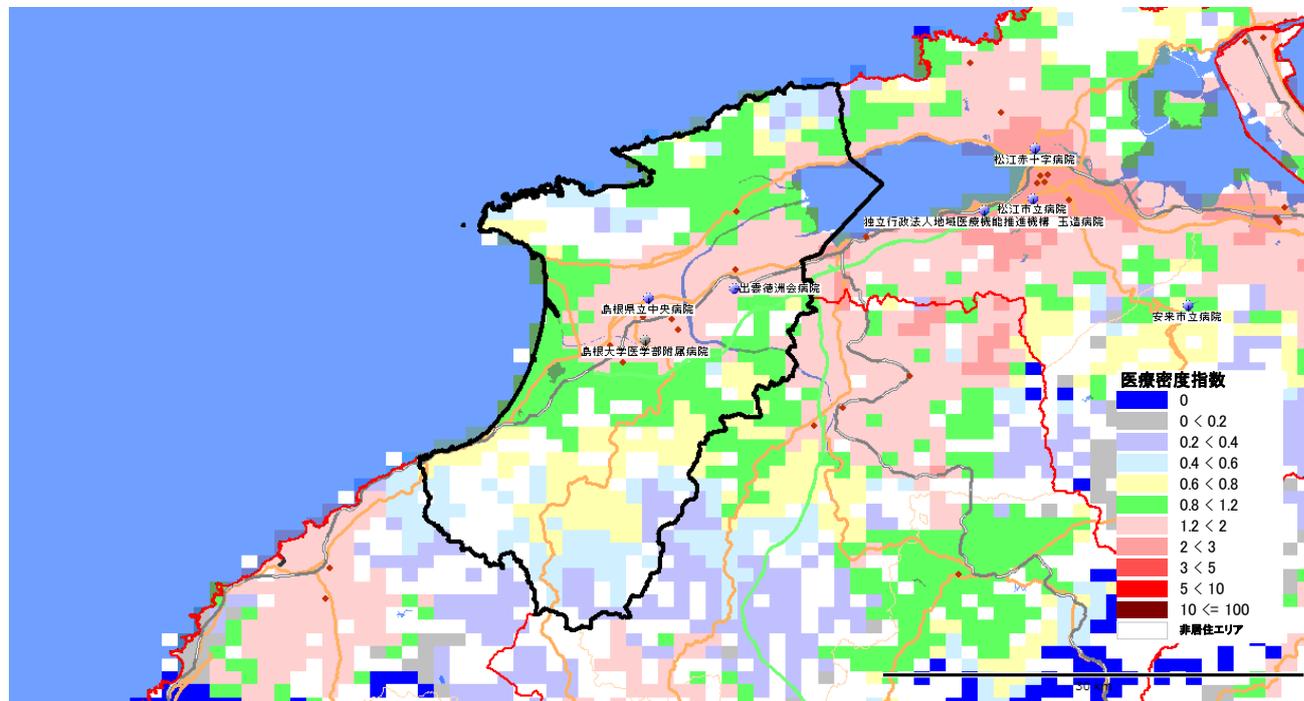
---

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の 75 歳 1,000 人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015 年の全国平均(95.5 床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

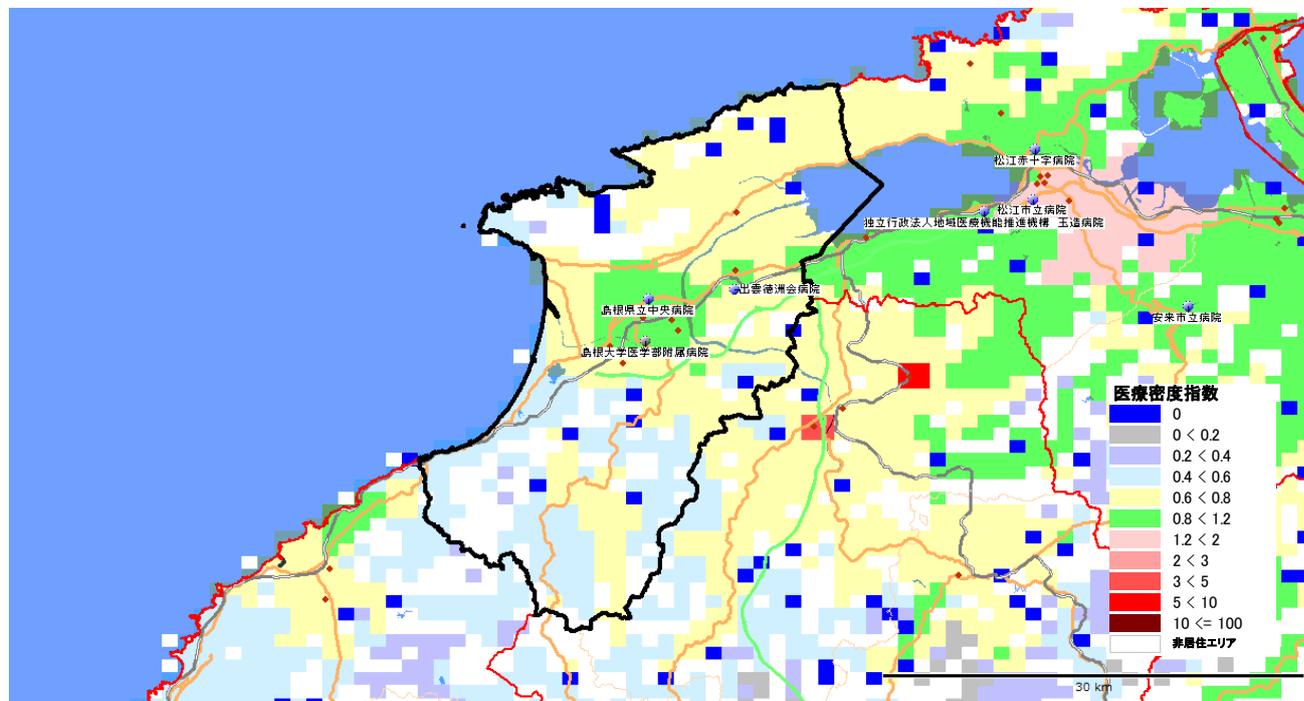
## 32. 島根県

### 2. 医療密度<sup>5</sup>

図表 32-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表 32-3-2 慢性期医療密度指数マップ

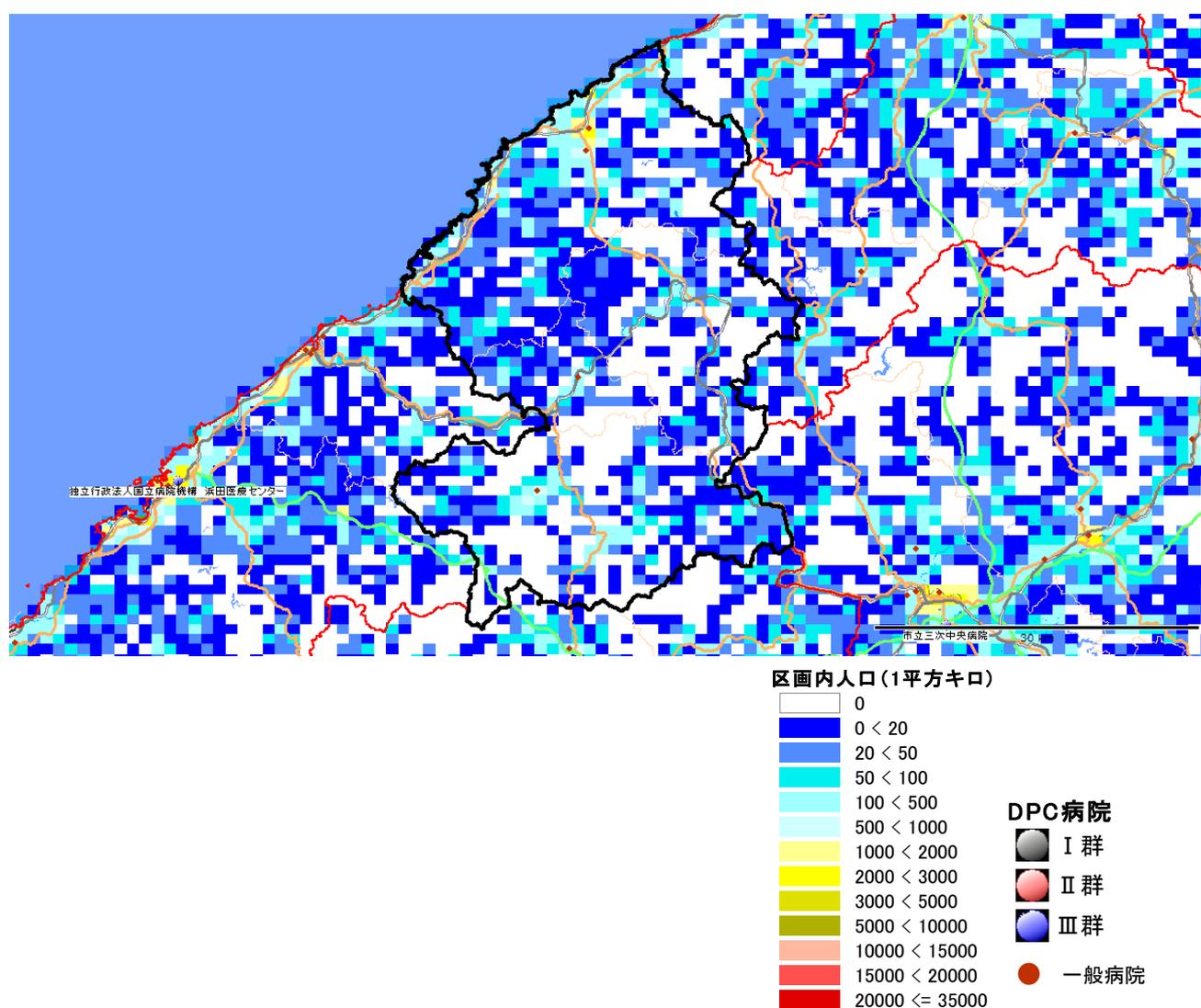


<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

# 32-4. おおた 大田医療圏

構成市区町村<sup>1</sup> [大田市](#), [川本町](#), [美郷町](#), [邑南町](#)

人口分布<sup>2</sup> (1 km<sup>2</sup>区画単位)



<sup>1</sup> 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

<sup>2</sup> 大田医療圏を1 km<sup>2</sup>区画(1 km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000 人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000 ~10,000 人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000 人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

## (大田医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 大田(大田市)は、総人口約 55 千人(2015 年推計)、面積 1245 km<sup>2</sup>、人口密度は 44 人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 大田の総人口は 2025 年に 46 千人へと減少し(2015 年比-16%)、2040 年に 36 千人へと減少する(2025 年比-22%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 13 千人が、2025 年にかけて 13 千人とほぼ変わらず(2015 年比±0%)、2040 年には 11 千人へと減少する(2025 年比-15%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 大田の一人当たり医療費(国保)は 438 千円(偏差値 81)、介護給付費は 347 千円(偏差値 76)であり、医療費、介護給付費ともに非常に高い。

## 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 大田の一人当たり急性期医療密度指数<sup>3</sup>は 0.82、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.24 で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 45(病院医師数 38、診療所医師数 61)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は多く、病院医師数は少ない。総看護師数の偏差値は 51 と全国平均レベルである。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 51 で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は 32 と非常に少ない。大田には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の病院はない。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 51 と療養病床数は全国平均レベルである。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 42 と少なく、回復期病床数は存在しない。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 52 で精神病床数は全国平均レベルである。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 77 で診療所数は非常に多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 大田の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1389 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 56)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 1045 床(偏差値 66)、高齢者住宅等が 344 床(偏差値 43)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1204 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 62)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 57、特別養護老人ホーム 66、介護療養型医療施設 52、有料老人ホーム 41、軽費ホームなし(偏差値 43)、グループホーム 53、サ高住 47 である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 43 と少なく、在宅療養支援病院は偏差値 52 と

<sup>3</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実。

全国平均レベルである。介護職員（在宅）の合計は、106人(75歳以上1000人当たりの偏差値40)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

#### 【医療と介護の需要予測】

**\*介護の2040年の需要予測：**現在の介護充足度指数<sup>4</sup>は+12%であり、介護の充足度は高い。2040年の介護充足度指数は+27%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

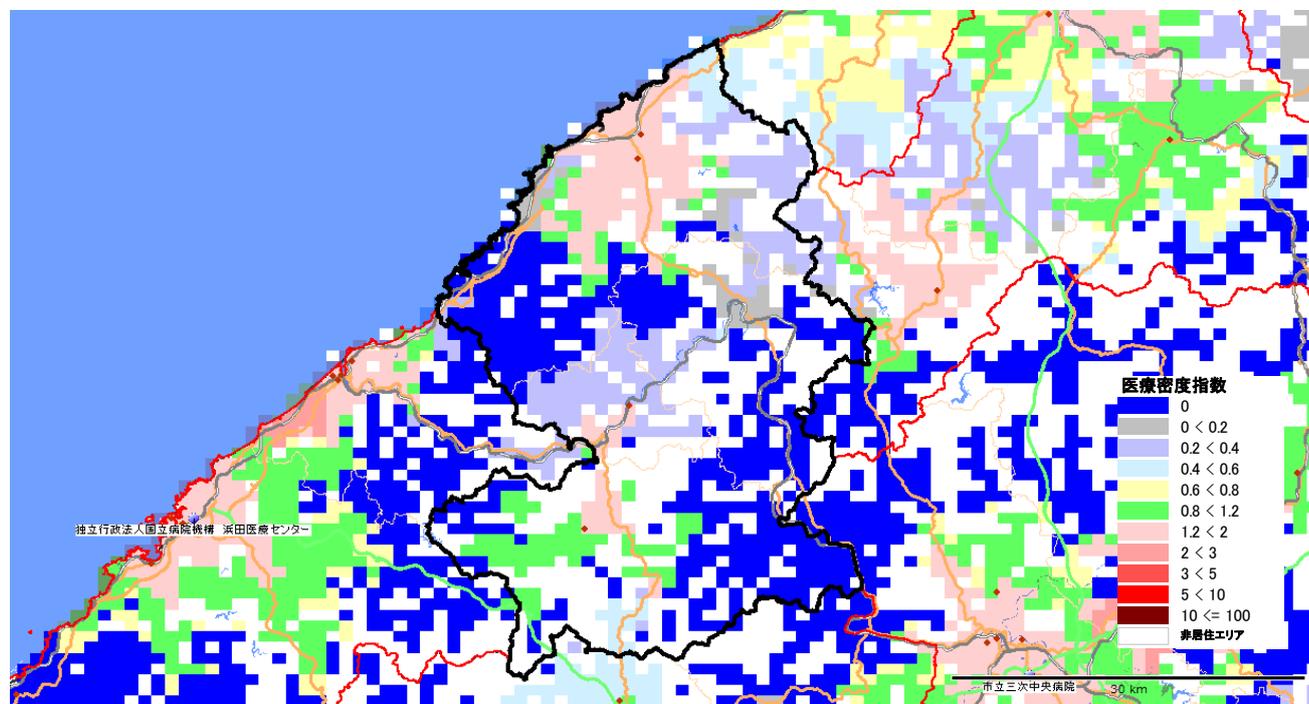
---

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

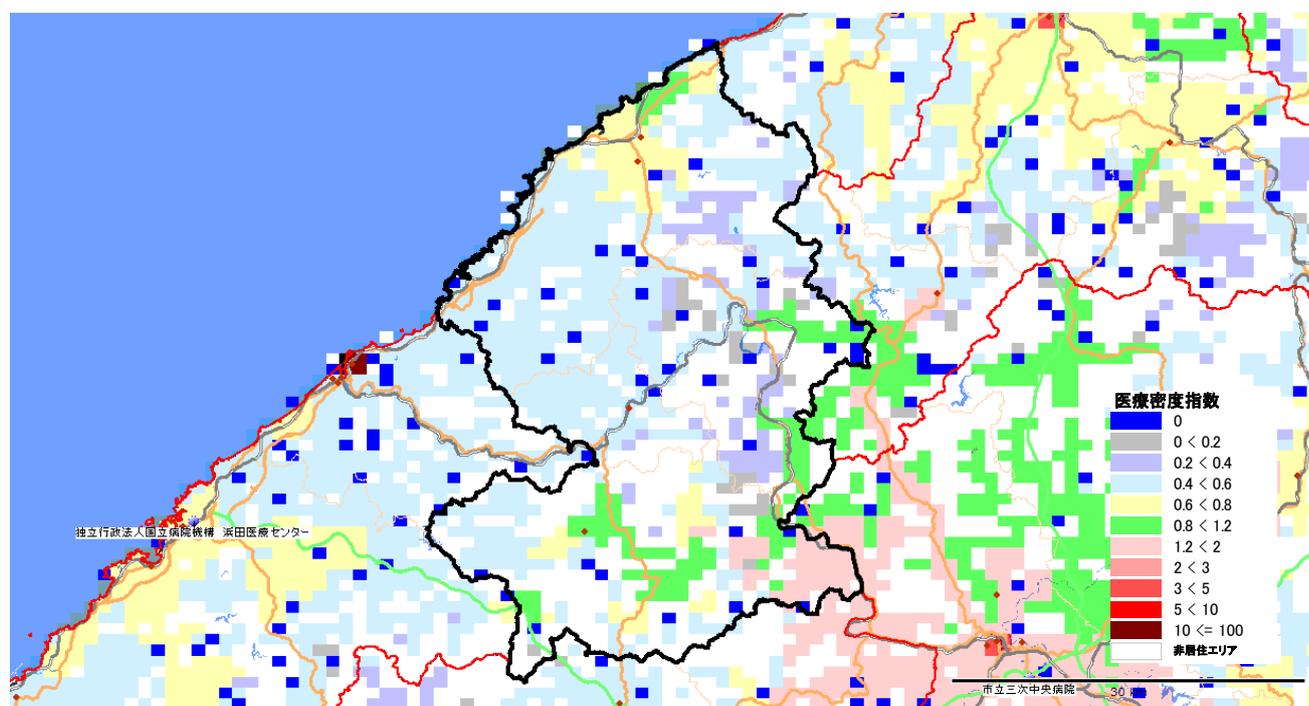
## 32. 島根県

### 2. 医療密度<sup>5</sup>

図表 32-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表 32-4-2 慢性期医療密度指数マップ



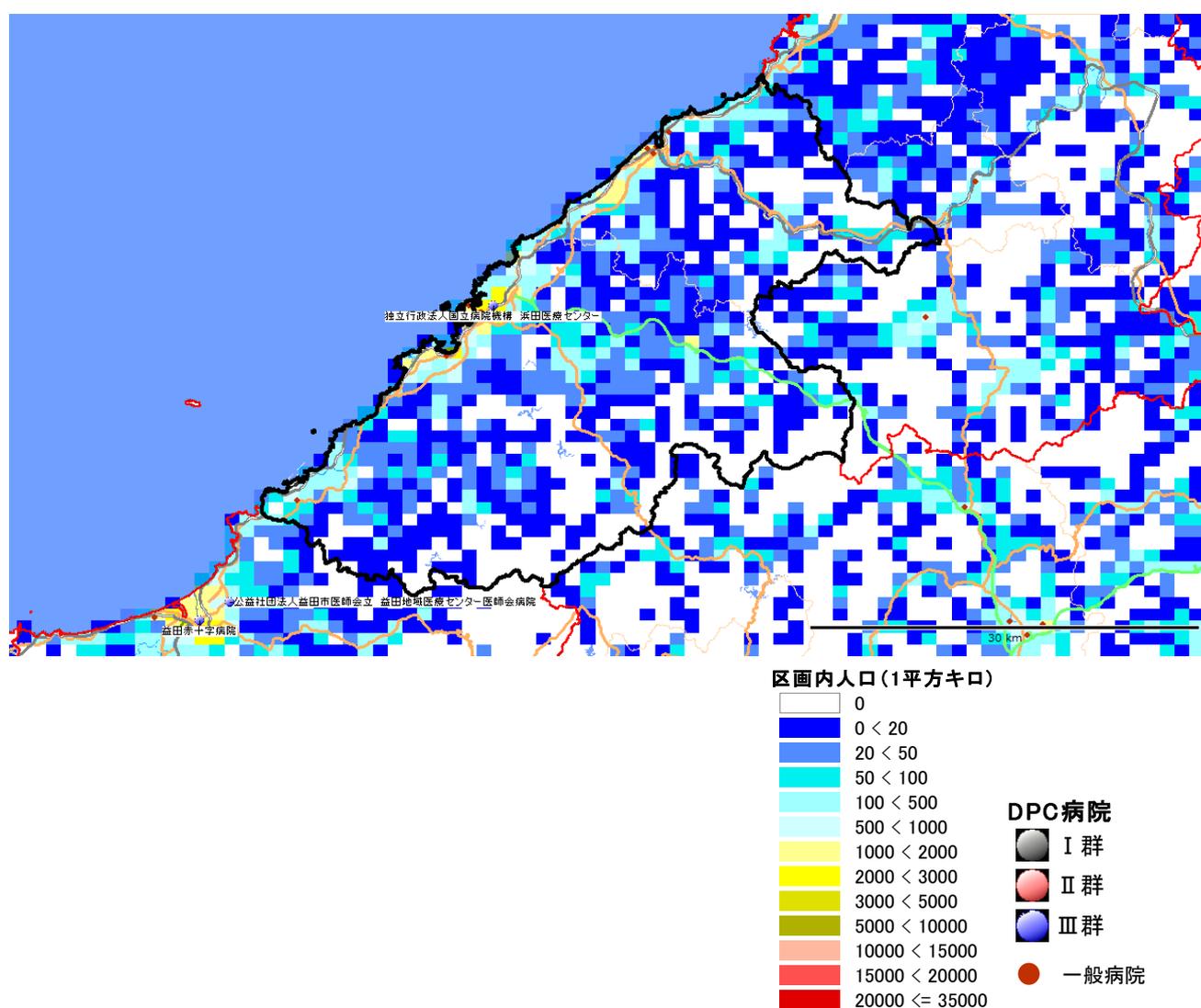
<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

# は ま だ

## 32-5. 浜田医療圏

構成市区町村<sup>1</sup> [浜田市](#), [江津市](#)

人口分布<sup>2</sup> (1 km<sup>2</sup>区画単位)



<sup>1</sup> 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

<sup>2</sup> 浜田医療圏を1 km<sup>2</sup>区画(1 km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

## (浜田医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 浜田(浜田市)は、総人口約 82 千人(2015 年推計)、面積 958 km<sup>2</sup>、人口密度は 86 人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 浜田の総人口は 2025 年に 72 千人へと減少し(2015 年比-12%)、2040 年に 57 千人へと減少する(2025 年比-21%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 16 千人が、2025 年にかけて 16 千人とほぼ変わらず(2015 年比±0%)、2040 年には 15 千人へと減少する(2025 年比-6%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 浜田の一人当たり医療費(国保)は 439 千円(偏差値 81)、介護給付費は 349 千円(偏差値 77)であり、医療費、介護給付費ともに非常に高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 浜田の一人当たり急性期医療密度指数<sup>3</sup>は 1.25、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.9 で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 52(病院医師数 47、診療所医師数 63)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は 63 と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 56 で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は 41 と少ない。浜田には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の浜田医療センター(救命)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 56 と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 52 と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値 61 と多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 61 で精神病床数は多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 69 で診療所数は非常に多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 浜田の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1527 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 52)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が 1147 床(偏差値 62)、高齢者住宅等が 380 床(偏差値 41)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1422 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 61)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 66、特別養護老人ホーム 55、介護療養型医療施設 52、有料老人ホーム 45、軽費ホームなし(偏差値 43)、グループホーム 53、サ高住 37 である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 69 と非常に多く、在宅療養支援病院は存在しな

<sup>3</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

い。介護職員（在宅）の合計は、263人(75歳以上1000人当たりの偏差値57)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

#### 【医療と介護の需要予測】

**\*介護の2040年の需要予測：**現在の介護充足度指数<sup>4</sup>は+10%であり、介護の充足度は高い。2040年の介護充足度指数は+16%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

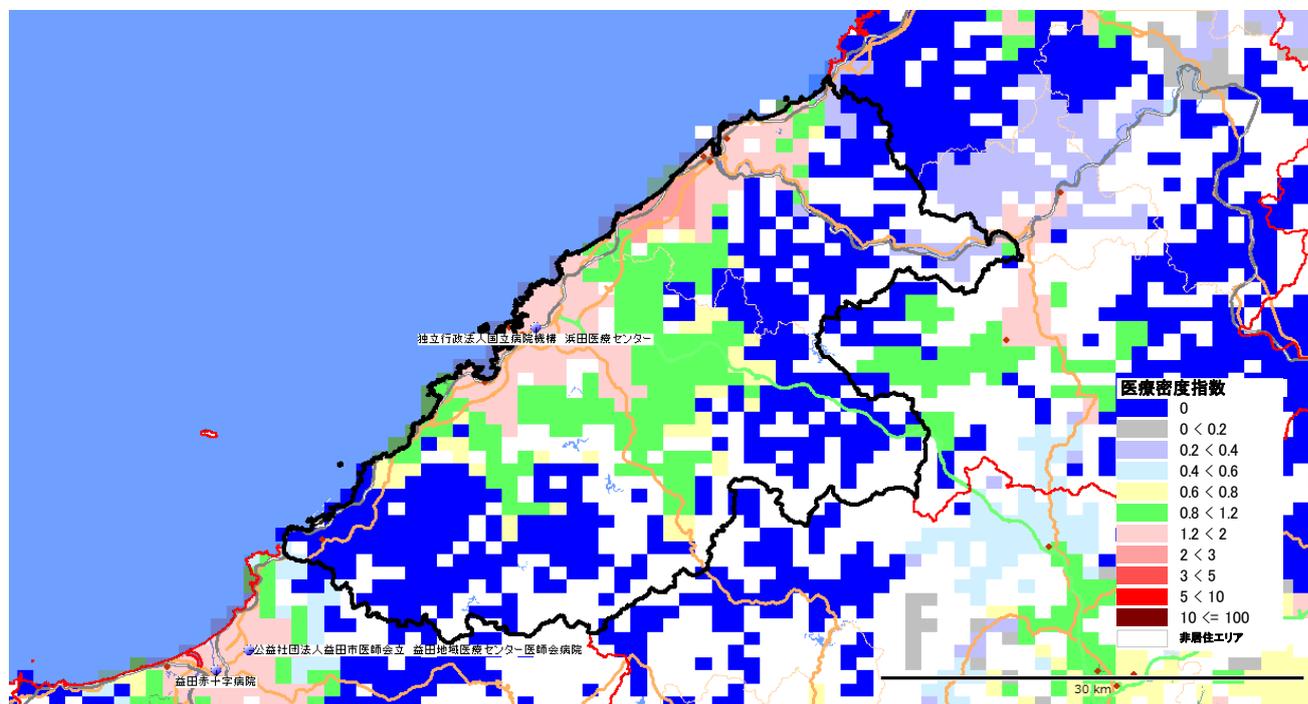
---

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

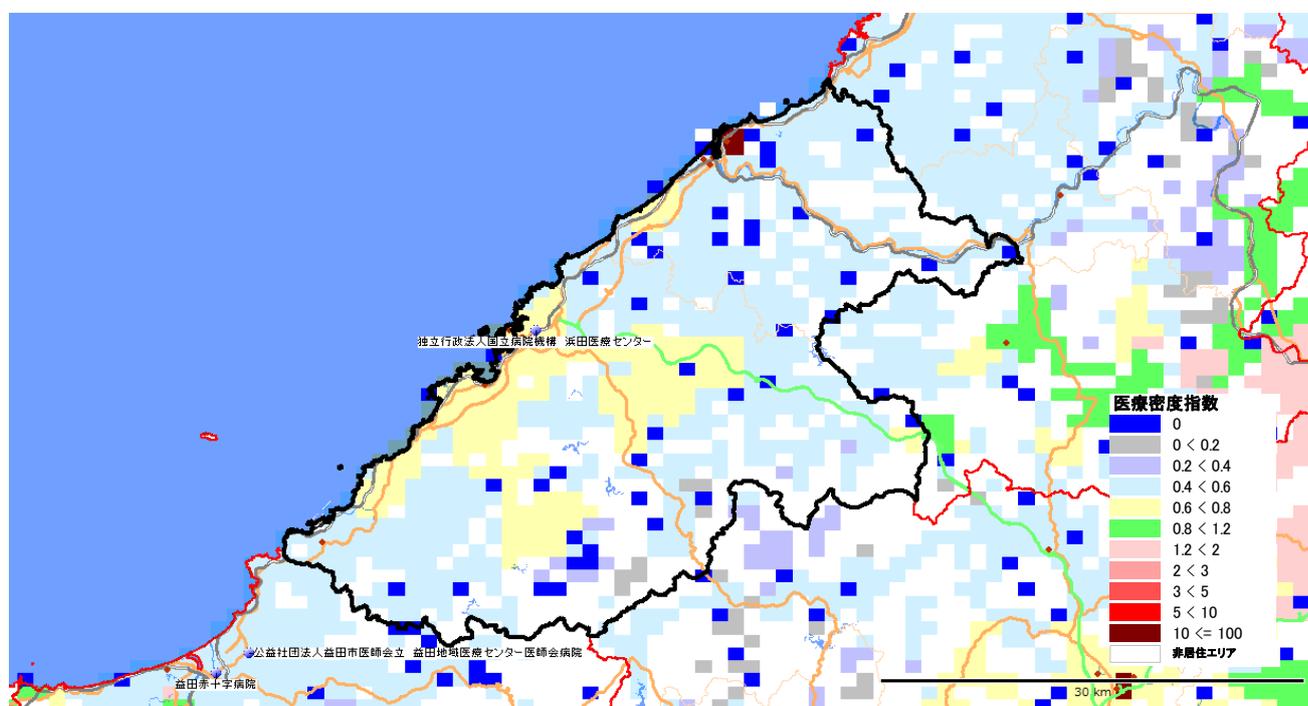
## 32. 島根県

### 2. 医療密度<sup>5</sup>

図表 32-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表 32-5-2 慢性期医療密度指数マップ

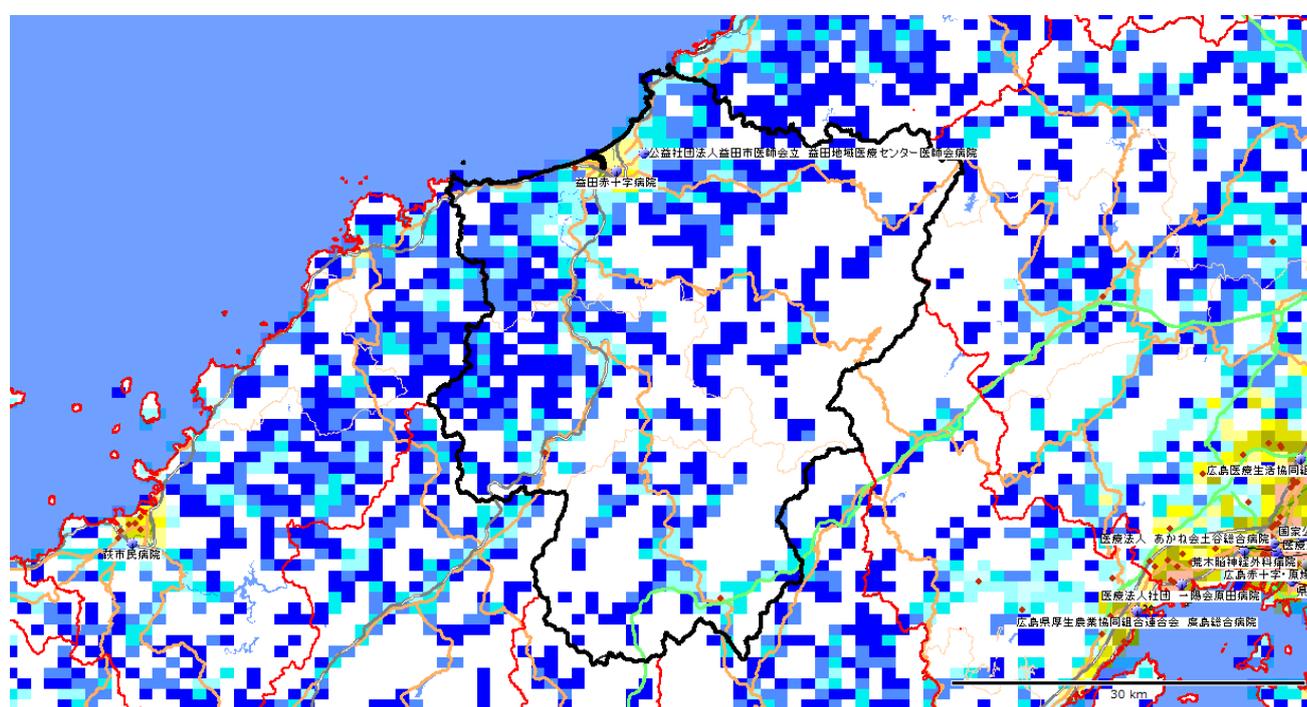


<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

# 32-6. ますだ 益田医療圏

構成市区町村<sup>1</sup> [益田市](#), [津和野町](#), [吉賀町](#)

人口分布<sup>2</sup> (1 km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



一般病院

<sup>1</sup> 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

<sup>2</sup> 益田医療圏を1 km<sup>2</sup>区画(1 km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

## (益田医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 益田(益田市)は、総人口約 61 千人(2015 年推計)、面積 1377 km<sup>2</sup>、人口密度は 44 人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 益田の総人口は 2025 年に 53 千人へと減少し(2015 年比-13%)、2040 年に 41 千人へと減少する(2025 年比-23%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 13 千人が、2025 年にかけて 14 千人へと増加し(2015 年比+8%)、2040 年には 12 千人へと減少する(2025 年比-14%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 益田の一人当たり医療費(国保)は 396 千円(偏差値 71)、介護給付費は 296 千円(偏差値 63)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 益田の一人当たり急性期医療密度指数<sup>3</sup>は 0.9、一人当たり慢性期医療密度指数は 3.02 で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 53(病院医師数 46、診療所医師数 67)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は非常に多い。総看護師数の偏差値は 59 と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 64 で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は 44 と少ない。益田には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の益田赤十字病院がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 56 と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 57 と多く、回復期病床数は偏差値 53 とやや多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 54 で精神病床数はやや多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 70 で診療所数は非常に多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 益田の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1267 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 53)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 936 床(偏差値 62)、高齢者住宅等が 331 床(偏差値 42)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1018 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 54)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 60、特別養護老人ホーム 59、介護療養型医療施設 50、有料老人ホーム 41、軽費ホーム 64、グループホーム 54、サ高住 40 である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 50 と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値 53 とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、75 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 36)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

<sup>3</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実。

**【医療と介護の需要予測】**

**\*介護の2040年の需要予測：** 現在の介護充足度指数<sup>4</sup>は+12%であり、介護の充足度は高い。2040年の介護充足度指数は+19%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

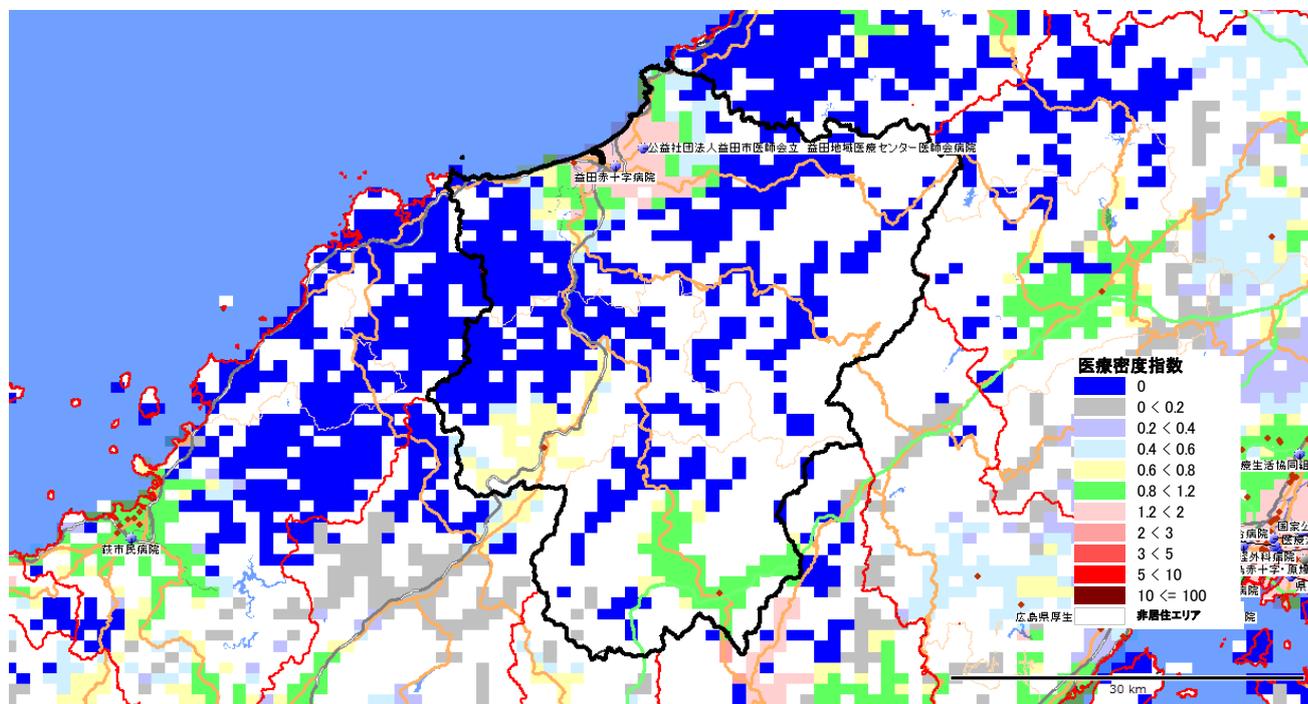
---

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推定)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

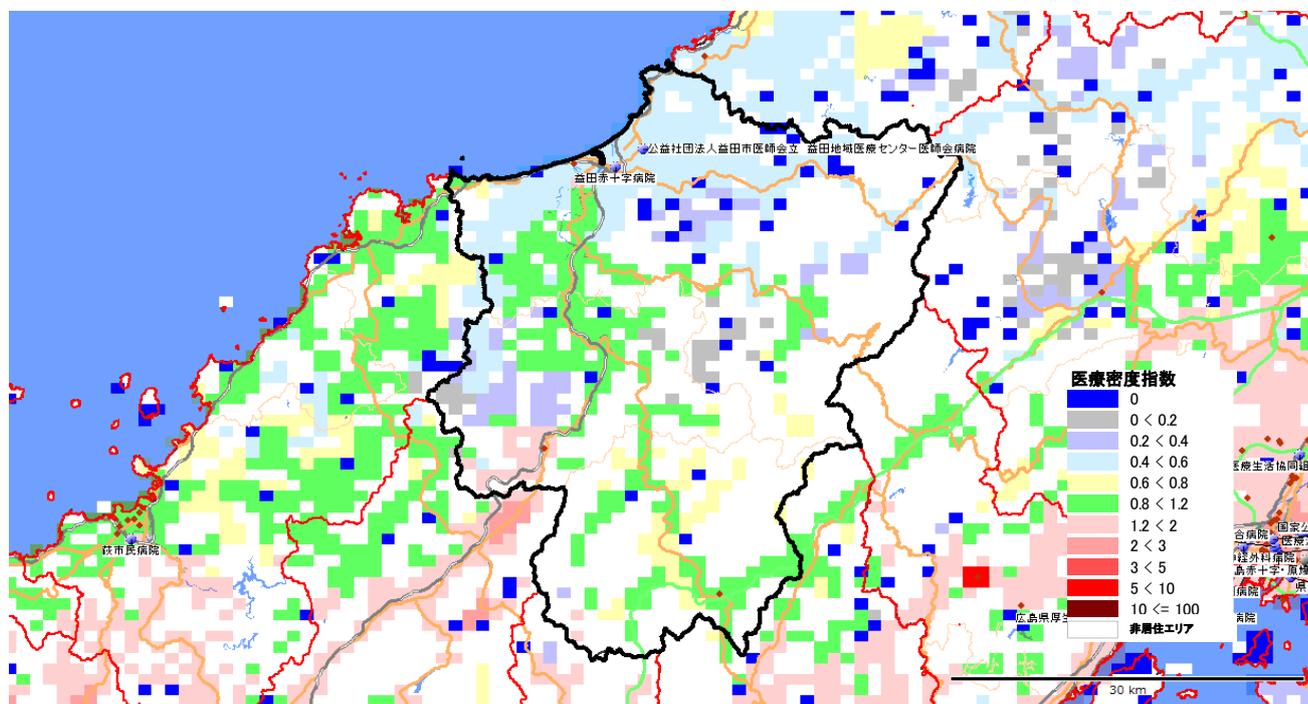
## 32. 島根県

### 2. 医療密度<sup>5</sup>

図表 32-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表 32-6-2 慢性期医療密度指数マップ

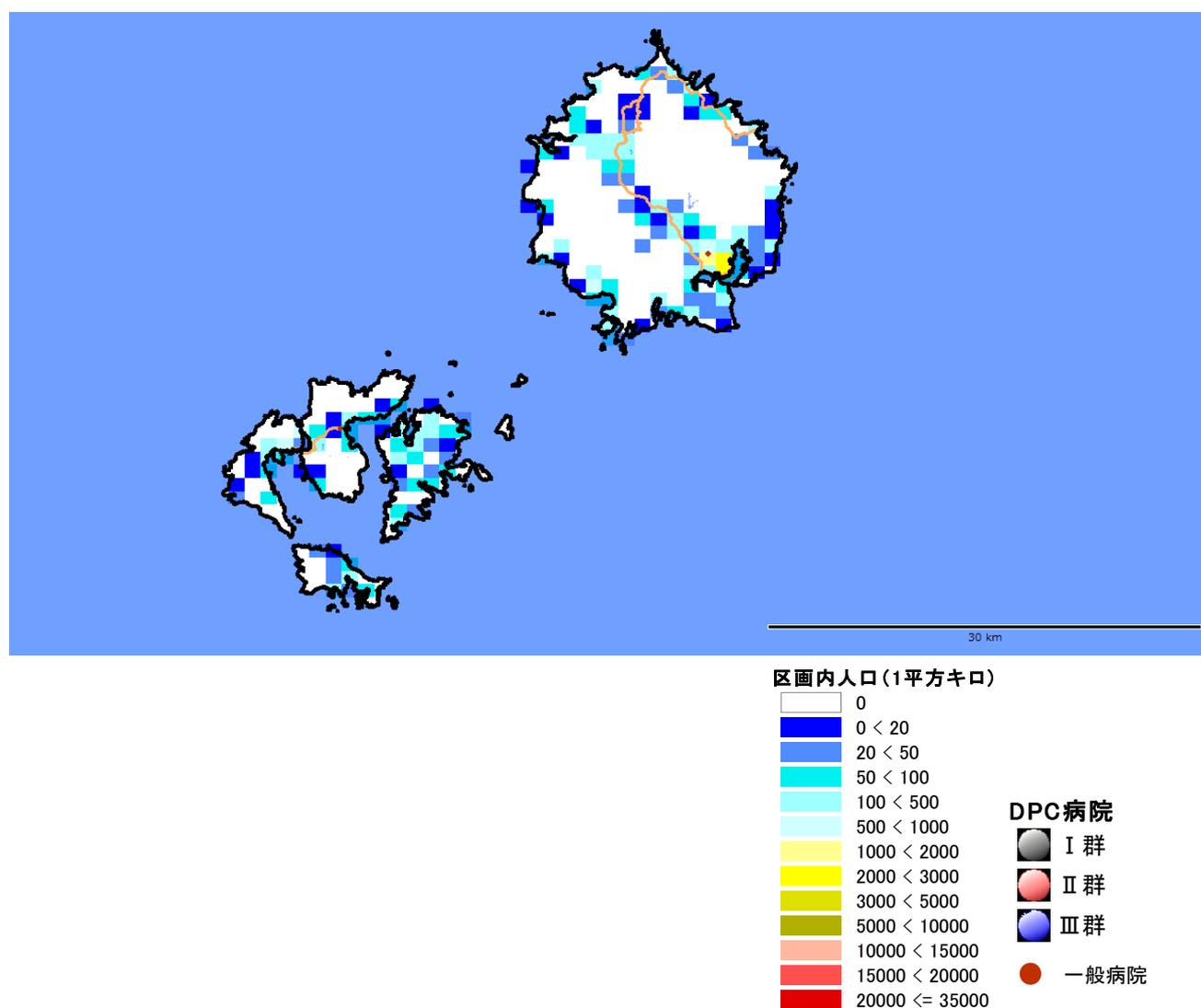


<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

## 32-7. おき 隠岐医療圏

構成市区町村<sup>1</sup> [海士町](#), [西ノ島町](#), [知夫村](#), [隠岐の島町](#)

人口分布<sup>2</sup> (1 km<sup>2</sup>区画単位)



<sup>1</sup> 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

<sup>2</sup> 隠岐医療圏を1 km<sup>2</sup>区画(1 km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000 人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000 ~10,000 人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000 人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

## (隠岐医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 隠岐(海士町)は、総人口約 20 千人(2015 年推計)、面積 346 km<sup>2</sup>、人口密度は 58 人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 隠岐の総人口は 2025 年に 17 千人へと減少し(2015 年比-15%)、2040 年に 13 千人へと減少する(2025 年比-24%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 5 千人が、2025 年にかけて 5 千人とほぼ変わらず(2015 年比±0%)、2040 年には 4 千人へと減少する(2025 年比-20%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 隠岐の一人当たり医療費(国保)は 402 千円(偏差値 72)、介護給付費は 358 千円(偏差値 79)であり、医療費、介護給付費ともに非常に高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 隠岐の一人当たり急性期医療密度指数<sup>3</sup>は 0.5、一人当たり慢性期医療密度指数は 0.69 で、急性期の医療はかなり少ないが、慢性期の医療は少ない。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 44(病院医師数 46、診療所医師数 41)と、総医師数と診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は 50 と全国平均レベルである。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 43 で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は 34 と非常に少ない。隠岐には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の病院はない。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 43 と療養病床数は少ない。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 41 と少なく、回復期病床数は存在しない。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 43 で精神病床数は少ない。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 66 で診療所数は非常に多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 隠岐の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、428 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 48)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が 356 床(偏差値 64)、高齢者住宅等が 72 床(偏差値 35)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、489 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 72)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 39、特別養護老人ホーム 75、介護療養型医療施設 48、有料老人ホームなし(偏差値 37)、軽費ホームなし(偏差値 43)、グループホーム 58、サ高住なし(偏差値 31)である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 45 とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値 113

<sup>3</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

と非常に多い。介護職員（在宅）の合計は、42人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

#### 【医療と介護の需要予測】

**\*介護の2040年の需要予測：** 現在の介護充足度指数<sup>4</sup>は+9%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040年の介護充足度指数は+14%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

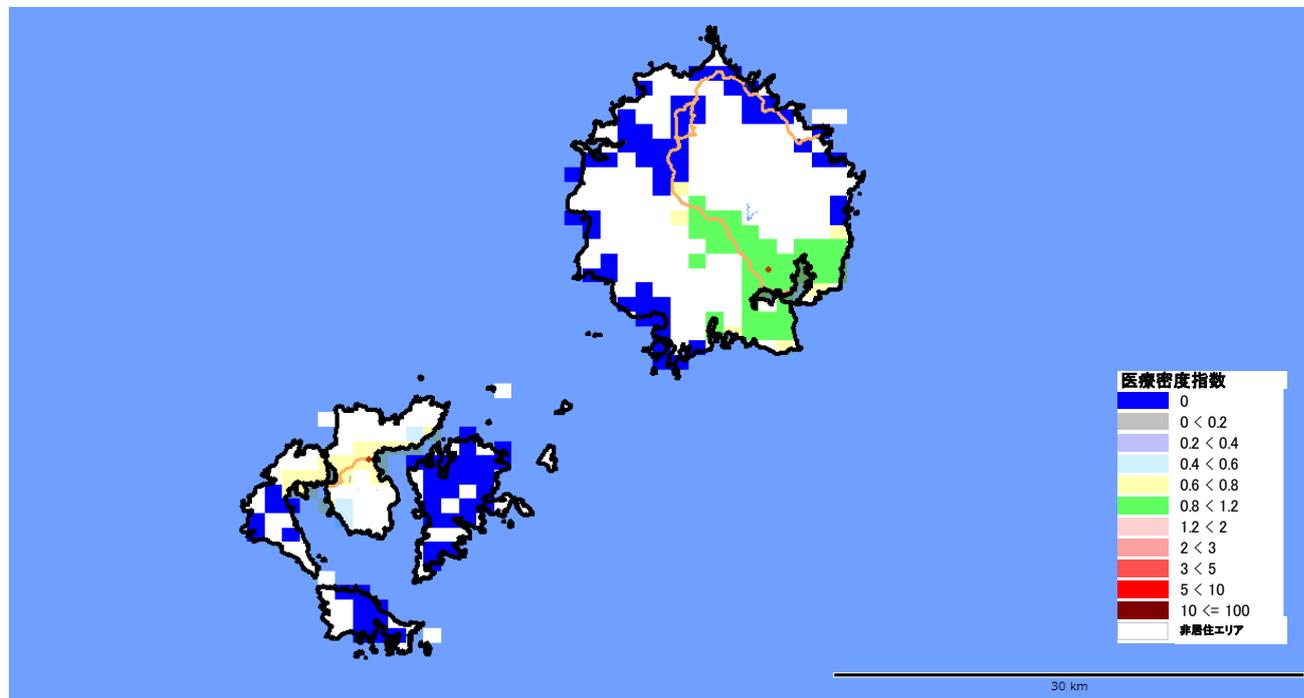
---

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

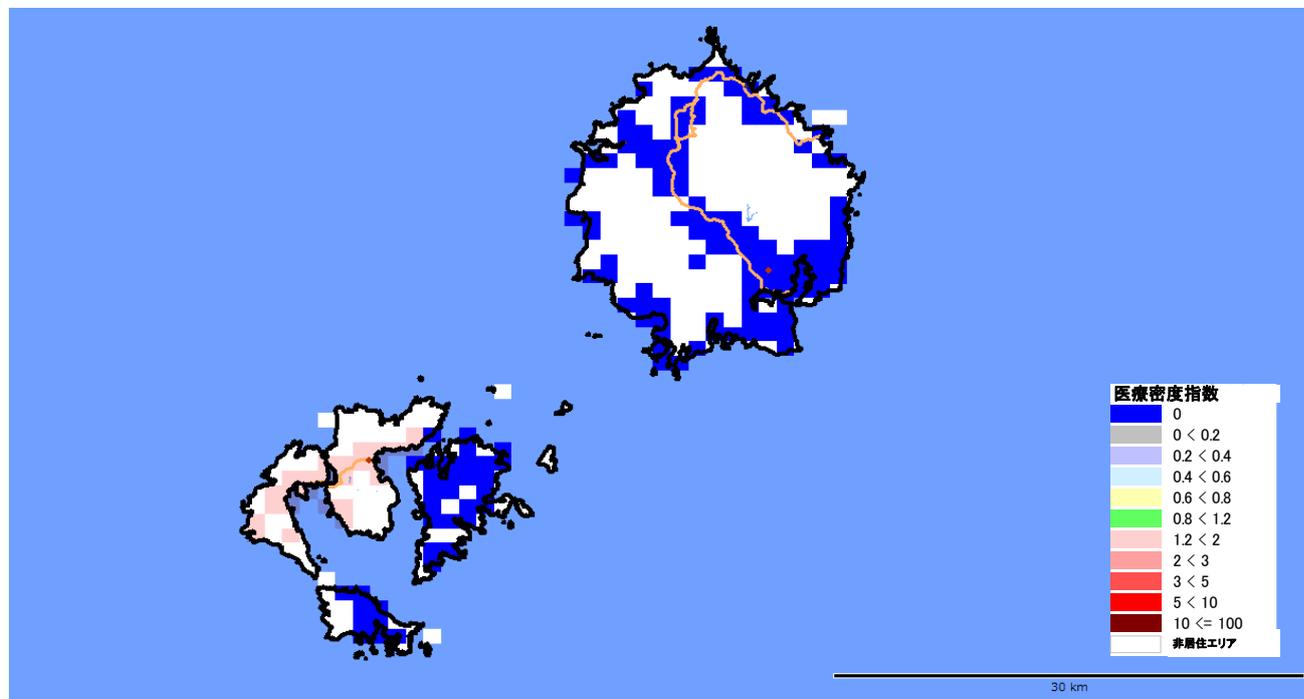
## 32. 島根県

### 2. 医療密度<sup>5</sup>

図表 32-7-1 急性期医療密度指数マップ



図表 32-7-2 慢性期医療密度指数マップ



<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。